京城日報
昭和十二年一月二十三日（土）
夕刊

全陸軍が硬化して 一切の妥協を排撃！

解散の他なき情勢に立至る

一縷の餘地は政友の全面的屈服

【東京支社特電】全陸軍は硬化して一切の妥協を排し、廿三日朝磯谷軍務局長は山本海軍次官を訪問、妥協工作反對を表明、この上は解散の他なき情勢である、ただ政友會に軟論起り必死に打開を策してをり、或は全面的に屈服するやも知れず、こゝに一縷の餘地を殘してゐる

危局の打開は困難か

解散斷行を主張し 容れずば單獨辭職 寺內陸相が所信披瀝

【東京電話】陸軍では二十三日午前の首腦部會議に引續き、寺內陸相は同十一時より省內大臣室に緊急三長官會議を開き、旅行先より歸京した杉山教育總監、西尾參謀次長出席、刻下の政局に關し寺內陸相より

軍の要望する庶政一新を實現するためにはこの際議會を解散して政黨の反省を求め、眞の擧國一致を實現し東亞の安定勢力たる帝國不動の國策を遂行して行く考へである

と所信を披瀝、午前中の陸軍省首腦部會議においてもこの際妥協的會合を排して政治の明朗化を期することに意見一致を見てゐるので、本日午後の臨時閣議において寺內陸相よりその點につきあくまで解散斷行を主張し、若し容れられざる場合自分は單獨辭職の他ないと思ふとの決意を披瀝し、海相より妥協案があつた場合の對策についても陸軍としてあくまで既定方針を以て進むことに意見一致した模樣で、同十一時三十分散會した

ひこれによつて政局が益々混亂狀態に陷るも陸軍の責任に非ざるものである

との結論に到達し同十一時十分散會した

陸軍首腦部會議

【東京電話】陸軍では二十三日午前八時首腦部會議を開き梅津次官、磯谷軍務局長、石本軍務課長、柴新聞班長等參集、永野海相の兩黨總裁訪問問題を中心に今後の陸軍のとるべき態度方針につき協議した結果

永野海相が調停に乘出したとのことだが陸軍としては未だ何等の通告も受けず陸軍として關知する所でない、從つて陸軍としては既定方針によりあくまでも解散主張を枉げず、二十三日の閣議において寺內陸相より重ねてこれを強硬に主張し若し永野海相が解散回避の主張をなす場合は已むなく陸軍單獨辭職を行

鳩山總務海相訪問

【東京電話】鳩山政友總務は二十三日午前十一時海軍省に永野海相を訪問した

"紛爭の時機でない" 深更永野海相は語る

【東京電話】町田鈴木兩黨總裁訪問後、二十三日午前一時半海相官邸官舍で永野海相は小川商相立會の下に兩黨總裁との會談狀況につき左の如く語つた

自分は刻下の時機に於ては擧國一致でやらなければならぬと痛感してゐる、國內で紛爭などやる時機では斷じてない、各方面ともスムーズで國家の爲めやつて行かねばならぬと思ふ、又スムーズにやつて行けると思ふ、特に海軍無條約第一年の重大なる時期に際會してゐるのである、小川商相も亦永野海相も個人として今度のことをやつたまでである

町田總裁にお目にかゝつてお互に腹藏なく話合ひお互に諒解を得たので、町田さんからも黨に話して貰ひ黨からこちらにお話があると思ふ、鈴木さんはあの御病態にも拘らず起きてをられ、鳩山さんも同席されて之亦お互に諒解を得た、何れ陸相とも會つて僕の信念に依りこの際國家の爲め最善と信ずることをお話する積りだ、僕の今度のことに就ての世間の毀譽褒貶は眼中に置いてゐない

咢堂翁首相に進言

【東京電話】政界の長老尾崎咢堂翁は二十三日廣田首相に會見を申込んだが、首相多忙のため岸秘書官を院內に招き同秘書官を通じて時局收拾策について重要進言をなした

海相が兩總裁訪問

町田總裁との會談內容

【東京電話】永野海相は二十三日午前零時五分私邸に町田總裁を訪問し時局打開策につき種々意見の交換を行つたが、その內容は左の如くである、まづ永野海相は

現在の事態は非常に憂慮すべきものあり、この際各方面の摩擦を緩和することが時局收拾の最善の方策と自分は考へる、民政黨は組閣當初から現內閣に協力されて來たが現在もこの考へに變りはないか

と質したるに對し、町田總裁は

かゝる事態に立至つたことは遺憾と考へてゐる、民政黨は現內閣組閣以來二名の閣僚を內閣に送つて協力し來つたがこの態度は現在と雖も何等變更をみてゐない、唯豫算案並に重要諸法案に對しては質すべきはこれを質し、然る後態度を決したいとの考へである、上述の方針については今日と雖も變りはない

と答へた、永野海相は更に

御主旨はよく諒解した、併し今夜のことは個人としてお尋ねしたのであるから左樣御諒承願ひたい

と述べ同四十分會談を終へた

鈴木總裁との會談內容

【東京電話】永野海相は二十三日午前零時五十分九段の私邸に鈴木總裁を訪問、鳩山總務立會の下に鈴木總裁と會見、まづ永野海相より

自分は議會再開劈頭の出來事で解散となるのは頗る遺憾と考へる、何とか局面打開の途はないか、自分としては時局を憂ふるの餘り兩黨總裁を訪問して示教を仰ぎたいと考へてお伺ひした譯である

と述べ、これに對し鈴木總裁より

自分も劈頭の出來事で解散となるは遺憾至極である、これが豫算案とか重要法案で解散となるなら已むを得ないが

と答へ

一、如何なる理由で議會を停會されたか

一、誤解に基き議會が停會となり解散となるのではないか、從つて誤解が解けたら元の狀態に歸るのではないか

一、政府は政黨が現內閣に對し敵意を持ち、全面的不信任案を突きつけるとでも考へてゐるのか

等種々意見交換を行ひ、最後に永野海相より

現下內外の時局は極めて重大であるから、この際軍と政黨とが協力して誤解を取り除く氣持ちがあれば自分としては斡旋の勞をとつて見たい、或は功を奏するかも知れないが個人として刻下の現狀を憂慮する餘りこの擧に出でたものである

と述べ會談を終り、同一時四十分辭去した

海相斡旋に乘出す

【東京電話】二十二日の緊急閣議において遂に議會解散の方針を決定したが、同日午後より陸軍上層部並に政民兩黨間に窮境を打開妥協工作が行はれ永野海相が陸軍政黨間の斡旋役に乘出し同夜深更政民兩黨總裁を訪問種々打合せを行つた結果、遂に政黨側の讓步により妥協成立の見込が立つた、二十三日永野海相と寺內陸相との會見で陸軍部內が承服すれば最後の一線に於て解散の危機を回避、議會は二十四日から續開される

妥協論の根據

【東京電話】政府は二十二日の臨時閣議で陸軍側の強硬意見にもとづき解散強行方針を決定し、二十三日午後の緊急閣議に於て最後的決定をなす方針であつたが、政府のこの強硬方針により極めて逼迫せる空氣の裡に政黨方面に解散回避、局面打開の機運が俄然濃化し二十二日午後四時より前田、島田、小川の政黨出身閣僚を中心に軍部及び政黨の對立的情勢緩和の斡旋打開工作が行はれ、遂に永野海相の出馬となつて兩黨間に時局の重大性を說き、極力庶政一新の實現に協力を求めた結果茲に政黨局面は一つた、即ち二十二日午後政民兩黨首腦部は夫々局面打開の方途について協議を重ねた結果、何れも解散回避を目指して妥協工作を進めることゝなり同七時半小川、前田兩黨出身閣僚が會見し兩黨の意向を傳へ、その後小川商相は政友會の鳩山總務と會見、堀內總務は政友の町田總裁を訪問協議を遂げ、一方前田鐵相は民政黨の櫻內幹事長を招致して政府にこの主旨を傳へ更に政友會の田邊七六、濱野襄太郎兩氏は梅津陸軍次官と連絡、梅津次官は之より先き午後五時四十五分山本海軍次官を訪問し種々打合せを遂げる所あつた、斯くて政黨側に軍部の意向を確め局面打開の曙光を認めた小川商相は同夜十一時永野海相を訪問して斡旋役としての出馬を促がし、同深更海相の町田、鈴木兩黨總裁訪問となつたものであるが妥協論の根據とする點は

一、重要政策に依る正面衝突なれば兎も角、枝葉末節の問題に依つて解散若しくは總辭職の如き最後的手段を執るは不可解で、その價値なし

一、斯くの如く軍部對政黨が對立した儘解散が行はれることになれば、總選擧に際し政黨として勢ひ陸軍を批評の對象とせざるを得ず、却つて軍民離間を助長し國家的不祥事を捲き起すことになるやも知れず軍部の本旨と背反する結果となる

一、政黨側も二・二六事件後庶政一新に協力を約せる當時の政情を想起し、軍も亦大局的見地より讓步を示すべきである

一、この主旨に依つて政黨が現內閣の使命を再確認すれば解散理由も自ら消滅しやうと云ふものである

この結果陸海兩相の會見となり、永野海相より兩黨總裁を訪問會談した內容を報告諒解を求め、陸相がこれを承認すれば解散の危機は茲に完全に免れることとなる譯である

翰長が陸相の眞意を打診

【東京電話】藤沼書記官長は二十三日午前九時三十分官邸に寺內陸相を訪問、二十二日前田鐵相と會見した際民政黨も政友會も政府を彈劾する意思はないと云ふことが明瞭にされた旨を述べ、時局收拾に關する首相の意向を傳へ陸相の眞意を打診して同九時四十五分辭去、直ちに廣田首相に陸相との會見顛末を報告した

重大岐路に立つ

【東京電話】永野海相は二十三日政民兩黨より正式回答あつた場合は寺內陸相に會見を申込み、時局の重大性に鑑み和協局面打開に邁進することになつてゐるが、海相としては飽くまで解散を避け豫算案並に重要法案の成立を期すべきであるとの信念を持つてゐるため、この會見で和協不調になつても二十三日の閣議においてこの信念を披瀝するものと見られるので、陸軍が和協工作に應ぜざる場合は閣內不統一となり、更に海軍が陸軍との間に和協工作を進めるか或は總辭職を決行するかの重大岐路に立つ譯である

寫眞說明　上は永野海相、中は寺內陸相、下は町田、鈴木兩總裁

【赤外線】

ロンドン會議の名帽子をそのまゝ解散待つたゞと留男を買つて出た永野海相、廿三日の拂曉一時半鈴木政友會總裁と會談を終つて自動車に乘り、副官の差出した帽子を被らうとするとどうしても入らない「ハテ！」と言ひながらよく見るとどうしたことか運轉手の帽子

『ヤレ〳〵俺の頭が大きいので恥をかゝずに濟んだわい』なるほど無理は通らぬものだね』としんみり（寫眞は永野海相）

本府辭令（二十二日附）

陞敍高等官五等　慶北奉化郡守　柳時[illegible]
（二十二日附）
依願免本官　慶北醴泉郡守　蔡[illegible]
任本府郡守（五等）　慶北奉化郡守　柳時[illegible]
慶北醴泉郡在勤を命ず
任本府郡守（八等）　本府專賣局屬　金[illegible]
慶北奉化郡在勤を命ず
任本府郡守（八等）　本府忠南道屬　李[illegible]
忠南唐津郡在勤を命ず　平馬
任朝鮮總督府醫院醫官（六等）
咸南在勤を命ず
敍勳　朝鮮藥學校（西州與業）　多田[illegible]
陞敍高等官四等　慶北高靈郡守　車化[illegible]
慶北醴泉郡在勤を命ず　忠南唐津郡守　蔡[illegible]
忠南瑞山郡在勤を命ず

遞信辭令

蔚山飛行場長　松尾[illegible]
大邱郵便局臨時在勤を命ず
蔚山飛行場長兼務を命ず
遞信技師工務課長　飯倉文甫
依願免本官　遞信技師　佐々木仁
工務課長を命ず

天地玄黃

永野海相の擧國一致論、擧國一致の贊意を表せむ
×
解散は免れても、再開初日の空前の騒擾までには相當の時日を要す
×
その時日の間に政黨の策し得るところ果して何
×
いよ〳〵五十キロ放送開始の日迫る、此の機會に放送事業の本義を大衆に徹底せしめよ
×
苟くも難しきことの一つ[illegible]院の開放

本日夕刊八頁

波しぶき（十一）（166）

邦枝完二作　神保朋世畫

それから小半時の後だつた。潮の波打際を、足にしぶきを浴びながら歩いてゐたのは、懷中に二百兩の金を抱いた半次だつた。星光がきらきらと龍紋の底のやうな空にまたゝいて、波の音だけが耳を搏つた。

『どうしたッてんだらうなア。もういゝ加減に來てもいゝ時分だが。……こいつアひよつとすると、狂言の筋が思ひ通りに運ばなかつたのかも知れねえぞ。――だが、さうだとしたら勘忍してもらふんだなア。何もこつちばかりが悪いわけぢやアねえだから。……』

『おい〳〵半次。』

『えッ。』

やうな、そんなどぢアしないよ。』

『これやア姐御。』

『姐御もないもんだ。こつちにさんざん嫌な思ひをさせときながら、間がよけれやこのまゝ二百兩のお金を持つて、ドロンをきめようといふ料簡とはほんとうに泥棒の風上にも置けない人だよ。』

『冗、冗談云つちやアいけねえ。姉さん。おれが、お前さんに分け前を渡さねえうちに、ドロンをきめ込むやうな、そんな不實をするもんかな。仕くじりでもしてるんぢやねえかと思つて、おれアこれから樣子を見に出かけようと思つてたとこなんだ。』

『何んだか轉るもんかね。事と次第に困つちやア、あたしなんざどうならうと、お構ひなしの勝手をしようとしたんぢやないか。おやアんとその顔に書いてあらアね。』

『でも姐御は、大層手間暇を掛いたぢやねえか。』

『それやアいくら裝の御敎でも、さうすら〳〵と穢車は押せやアしないよ。』

『そんならやつぱり裝の御敎を相出したのか。』

『それが裝の手だもの。出さずに濟むことなら、まだこの先もあるしするから、出さずに仕舞にしもはうと思つたんだけれど、あの滿兵衞といふ親父が、どこまでも自身番へ突き出すなんのと、小むつかしいことをいふもんだから、とう〳〵辛抱がしきれなくなつて、玉手箱の蓋を開けたのさ。』

『野郎共ア、さぞ驚きやアがつたらうなア。』

『驚いたなア當り前ぢやアないか。そんなことより、お前、速くお出しなね。』

『出せとは。』

『白ばッくれちやアいけないよ。二百兩のお金を、まんまと取つて來たぢやアないか。』

『うむ、こいつのことか。こいつアいはれるまでもねえ。出すなといつても出さずにや置けねえや。――かうつと、いくら出すかな。』

二百兩のうち二十兩、といふわけにも行くめえから、五十兩がとこはづむとすべえかい。』

『何んだつて、五十兩だつて。』

『さうよの。それともそんなにやいらねえといふのか。』

『何をいつてるんだね。あたしやそんな端はいらないよ。』

『五十兩の金を端だなんて、飛んでもねえ。十兩から先ア首が飛ぶ大金だぜ。』

『四の五のいはないで、ともかく一度その二百兩を、そつくりこつちへお預けよ。その上であたしの手で分けようぢやないか。』

『飛んでもねえ。分け前はおれが出すんだ。そつちに分けられてたまるもんかな。』

『おッとお待ち。お前さつき何んといつたい。あたしやお前の親分だよ。』

『そんなおめへ……。』

『子分になるなら、一應聽いてやるといつたのを、まさか忘れたわけぢやあるまいね。――どうでも出さないといふンなら、あたしにも覺悟があるよ。』

『覺悟だッて。』

『さうさ。今度はお前を、お奉行所へ引摺つて行くからさう思つておくれ。』

ことしの建國まつり
現下の國情に鑑み特に盛大に
家庭化にも乗り出す

從來毎年二月十一日の紀元節の佳節に當つて建國祭を催し國民精神の強調に努めてゐるが、皇紀二五九七年の佳節を目前に控へ、本府學務局では國際情勢のピンチに鑑み、本年の建國祭は特に盛大に開催し、高遠な建國精神の涵養を強調し、さらに半島の各家庭に國旗を揭揚して建國祭の家庭化に乗り出すことになり富永學務局長は來る廿五日各道知事に宛て「本年は特に建國祭を盛大に開催するやう」とそれ〴〵通知を發することになつた、これによつて京畿道を始め各道では府邑當局及び學校當局とタイアップし、同日二千二百萬を總動員して建國運動を起す方針である

十二時間も取調べ
外交文書を押收
浦鹽で受難のサイベリヤ丸
一晝夜遅れて羅津へ入港

やつと眞相判明した
ゲ・ペ・ウの暴狀

【羅津電話】廿日朝浦鹽に入港すべき日滿歐亞連絡船サイベリヤ丸（三四六二トン）が浦鹽で領海侵犯ならびにスパイ嫌疑でゲ・ペ・ウ官憲に抑留されてゐるとの報が傳はるや北鮮國境地帶の人々はびつくり、遠山船長以下七十二名の乗組員の安否を氣遣はれてゐたが、サイベリヤ丸は一晝夜近く遅れて二十二日午前三時羅津に入港した、遠山船長立木事務長を訪ねると船員一同未だ昂奮からさめぬ樣子であつた、乗組員の語る處によれば、サイベリヤ丸は十九日朝ウラヂオに入港し乗客の如く船客を上陸させるや正午頃に至りゲ・ペ・ウ官憲は突如海陸の交通を遮斷し二十一日午前六時まで前後三回にわたり領海侵犯罪及びスパイ嫌疑のもとに峻烈なる訊問を受けた、その主張する處は『沿岸地帶三マイル以上の沖合を航行すべきである』といふのであるが、實際問題として港口に近づくにつれ三マイル以内を航行することはやむを得ぬことで、これを問題にするのは全くいやがらせに外ならない

なほ同船が持つて行つたわが外務省の公文書入りカバンも東京駐在蘇聯大使館の署名がないとの理由で我領事館に手交する事を禁止され約一晝夜押へられ廿日午後七時頃漸く返還することを許した

金内船長の話 『今度の事件でたとへ一時的にせよ歐亞聯絡定期航路に支障を來たさしめた事は重大なことで我々としては申譯ない事です、また二日間も取調べを受けたことも不可解です（寫眞はサイベリヤ丸）

全乗組員を監禁し
裸體にして取調べ
所持品は鼻紙まで押收さる
これは金剛山丸の話

【雄基電話】サイベリヤ丸と前後して浦鹽に入港した朝鮮郵船金剛山丸（二二〇〇噸）も大いにその安否を氣遣はれてゐたが同船は豫定の如く航海を續けて廿二日午後雄基に入港し、次の如き消息を齎した、同船が十九日朝浦鹽に入港するや四十名位のゲ・ペ・ウが乗船事務長以下四十四名の乗組員全員を機關室に監禁、金内船長のみをサロンに拉致して嚴重取調を行つた後船員の所持品は手帳を初め洋服手紙、鼻紙まで全部押收し船長所持の雄基港圖の外海圖三枚も押收された、一方機關室に閉ぢ込められた船員は一人々々嚴重な訊問を受け果ては素裸にされてた上、殘る隈なく調べられた

無煙火藥爆發
九名死傷の慘
板橋製造所の椿事

陸軍省發表

【東京電話】二十三日午前十時三十分陸軍省發表——二十三日午前八時陸軍造兵廠板橋火藥製造所において無煙火藥混合作業中發火同作業中の左記工員八名並に附近通行中の一名は火傷を負ひ家屋五十坪の屋根を四散せしめたり、作業中の火藥は一部搬出したるも大部分燒失せり、原因目下取調べ中

死者五名 荒木健次（二六）加藤龍子（二七）高木タケク（二七）井桁キヨ（二七）清水スイ子（二七）

重傷三名 加藤定雄（二六）田沼アイ子（二三）通行人松本光政（二七）

輕傷一名 佐藤弘（二三）

なほ陸軍省よりは鈴木兵器局長佐藤砲兵大尉並に兵器課將校、造兵廠より將校を派遣し現地の調査に當つてゐる

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

四手井侍從武官
京城滯在中の日程

【二十三日午前十時朝鮮軍司令部發表】京城における侍從武官行動概要——四手井侍從武官は一月二十五日京城驛着二十五、六兩日京城における軍部、總督府の狀況を左の通り御視察せられ爾後北鮮方面に向はせらる豫定なり

▼一月二十五日午後一時三十五分京城驛着、爾後京城司令部、京城憲兵隊本部、朝鮮總督府

▼一月二十六日午前九時より野砲第廿六聯隊、步兵第七十八聯隊、同七十九聯隊、騎兵第二十八聯隊、工兵第廿聯隊、朝鮮憲兵隊司令部、京城憲兵隊本部、朝鮮軍司令部、第廿師團司令部、總督府

× × × ×

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

手切金を持ち
藝者の家出
内地方面へ

京城新町一七〇藝妓業一力の抱藝妓梅勝こと宮崎市赤江町生日高アキノ（二〇）は昨年末來黃金町二ノ六五大屋定之（二〇）と馴染を重ね身請話まで持ち上つた仲であつたが男の周圍が許さず水が入り廿日手切金三百圓で話は解消したが、廿二日午前八時手切金の三百圓を持つて家人には髮を結ひに行くと家出内地方面へ走つたので本町署に搜査願を出した

訪日第二彈
ドレー機ビルマ着

【アラハバット二十二日同盟】二十二日午前八時（日本時間午前十一時半）カラチを出發した空の軍馭天ドレー機は同日午後二時十分（日本時間午後五時四十分）印度の心臓アラハバットに到着した、到着後ガソリン補給の後二十二日午後三時五分（日本時間午後六時三十五分）アラハバット出發ビルマのアキアブに向つた

【アキアブ廿二日同盟】空の超特急ドレー機は二十二日午後［illegible］分（日本時間午後六［illegible］）アラハバット出發ビルマのアキアブに向つて彈丸の如く［illegible］後八時五十二分（日本時間［illegible］一時五十二分）豫定より［illegible］分早くアキアブに到［illegible］ー、ミケレッティ兩［illegible］で二十三日午前零時［illegible］午前三時半）月明りを［illegible］に向つて出發の豫定である

京中の武道大會

［illegible］

三名を殺傷す
晉州の魚屋夫婦と妊婦ご難
犯人は間もなく自首

【晉州電話】廿二日午後［illegible］

入學試驗の序幕あく
女子師範志願者三百名

京城女子師範入學志願［illegible］十四名、演習科、講［illegible］

醫師、齒科醫藥劑師試驗

［illegible］證明書を有するものは其の寫、最近撮影の手札形寫眞（五）願書提出官署朝鮮總督府警務局衛生課

▲齒科醫師試驗（一）期日四月七日より（二）場所京城齒科醫學專門學校（三）願書締切三月十日迄（四）提出書類醫師試驗と同樣（五）願書提出官署醫師試驗同樣

▲藥劑師試驗（一）期日六月七日より（二）場所朝鮮總督府警務局衛生試驗室（三）願書締切四月三十日迄（四）提出書類醫師試驗提出書類と同樣但し試驗證明書を除く（五）願書提出官署醫師試驗同樣

狂言强盗

〃夫よ家に歸れ〃と妻からの抗議、廿二日朝九時五十分京城黃花町一一八京城［illegible］

高普出身の花形選手
求職中に搔つ拂ひ
掛取り中の女給の油斷に乘じ
集金その他を失敬す

［illegible］年十一月まで朝鮮體育協會にあつてスポーツ關係の仕事をして來たが同協會紛亂の責を負つて辭任しその後は浪々の身で職を求めてゐた、同人は以前からスポーツマンの人氣に騷せられて集ふ女性關係で一般には評判がよくなかつた、廿二日も盜んだ足で三越に赴き便所の中で有價證券その他を捨て現金だけを所持してゐたもので同人の家宅搜査の結果某官廳の内地人女事務員二名から愛の逃避行を企てようと書き送つた數通の手紙があり二人の女性を巧みに操つてゐたものと見られてゐる

盗んだ鐵材で怪我

廿二日午後五時ごろ京城漢江通り十六番地鐵道病院裏石田組の工事場から値上りの鐵材八貫目を盜んで逃げる男を龍山署員が發見追跡、驛町へ通ずるガード下で曲者はつまづいて倒れ、右膝を鐵材の下に敷いて治療十日間の傷を負ひ動け［illegible］

廿三日朝の天氣概況

大陸高氣壓は二つに分れ一つは鮮滿國境内陸から滿洲東部に張り他の一は揚子江流域に在ります、諸所薄曇つて支那、滿洲、朝鮮は一帶に曇つてゐますが南鮮では諸所雪が降つて來ました、又天津西方には低氣壓が發生する模樣があつて天津は曇つて來ました、内地方面は大陸高氣壓の端に當つて其の東方洋上には低氣壓群があり太平洋岸は殆んど晴れてゐますが日本海沿岸では北陸地方から奧羽地方は雪、山陰から南西諸島にかけては諸所時雨れてゐます、昨朝の氣温は昨朝より一帶に低くなりましたが未だ一般に平年並又は平年より一、二度の高目で僅かに平壤、城津、中江鎭が一、二度の低目を示してゐるに過ぎません

京城地方（今晩）は晴（明日は）晴一時曇

仁川地方（今晩）は風弱く晴（明日）は南東の風雨後曇勝となる

京城温度（廿三日）最低零下四度九（廿三日）午前六時零下七度九正午零度二

全鮮天氣豫報（24）

地方	風	天氣
京畿 忠南北	北東乃至南東の風	始めは晴後には曇
全北南	北東乃至南東の風	晴れたり曇つたり
慶北南	北乃至東の風	晴れたり曇つたり
平北南	北東乃至南東つ風	始めは晴後には曇
咸南 江原	東乃至南の風	始めは曇後には雨
咸北	北東乃至南東の風	後には曇

トラックと
汽動車衝突す
運轉手ら二名重傷

廿二日午後一時十分ごろ全南光州發潭陽行き汽動車が潭陽驛に入構の際光州街道踏切りで光州朝鮮運送支店の貨物自動車と衝突し汽動車は遂に運轉不能となり救援機關車の努力で同二時半漸く復舊したが自動車は大破、運轉手金鐘成（二）助手李仲成（二）は重傷で目下手當中である

東京大相撲
十日目取組

［illegible］

とんだお餅
風呂敷包は赤ん坊
考へたり拾子戰術

捨子の新戰術！廿二日夜十一時ごろ京城明倫町四の四六金致鉉さん方大門を叩きながらお隣りからお餅を持つて來ましたと言ふので金致鉉さん方に同居してゐる金壽福君の妻金已順さんが門を開けると白ネルで顏を包んだ廿七歳位の女が風呂敷包みを渡すので受取つた瞬間、同包みの中から赤ん坊の頭が現れた、ビックリした金女尻もちをついたトタン怪女の姿は消えた、赤ん坊は生後廿日位の男子で東大門署では貧困者の捨子ではないかと犯人搜査中

昨年中の朝鮮競馬
馬券の賣上げ三百七十萬圓

昭和十一年中朝鮮における競馬は回數は百二十四回でその入場人員は十四萬四千百四十人で馬券賣上げは三百六十九萬八千圓といふ新記錄であつた

電線泥 京元線永登浦驛から往十里驛間の第八十五號電柱を中心に約三百五十米の電線が何者かに切斷竊取されてゐる事を廿三日朝七時ごろ往十里驛員が發見東大門署で犯人搜査中

スキー列車
運轉見合せ

今年も雪不足でスキーヤーを失望させてゐたが廿二日以來金剛山一帶に降雪を見廿三日は約一尺餘の積雪となつたのでスキーファンを喜ばしてゐる、なほ鐵道局では都合によりスキー列車を運轉せぬ模樣である

高等工業學校小使金完燮（二一）は「昨夜私の家に覆面の持兇器強盜が押入り十圓を强奪されました」と東大門署孝悌町派出所へ屆込んだので東大門署では直に非常線を張ると共に被害者方を調べると、金は僅か卅七圓五十錢の月給取りでありながら惡友をよそに［illegible］へ入り浸つてゐるので、妻の朴姉（二〇）がたま〳〵廿三日午前二時ごろ歸宅した夫の不身持ちを直したいものと三晩考へた揚句の狂言と判り、朴女は拘留處分に附された

前借金詐欺 京城鍾路三丁目一六朝小料理松屋こと金鶴淑さん方へ數日前朴貞姫（二二）といふ咸興から來た娘が妓生になりたいとの希望で來たのでこの美人を一眼見た朝小料理の朴さんはOKとばかり早速咸興の娘の親の承諾をとひに行き前借金二百五十圓を持つて歸城したら娘が逃げてしまつてゐるので朴さんダアーとなつて廿三日西大門署へ搜査願ひを出した

厭世自殺 京城漢江通鐵道官舍四二ノ一岡村一君（三七）は廿二日午後七時頃カルモチンを多量服下し厭世自殺を企てたが家人に發見され府民病院に擔ぎ込み應急手當を加へたが重態である

合併後の電力料金は京城よりも低減

矢野府尹初めて合併の核心に觸れ
確信の事情を闡明

[illegible]……てゐたが、どうやら大體……がついたので矢野府尹は……の質疑に對しては……の核心に觸れ……なすに至つた、答辯要項

[illegible]……計劃の大方針に則り西鮮……と合併するならば電力……は現在よりは確かによ……少くも電動力の點からす……電氣は現在一キロワツ……錢であるが西電に合併……てゐる鎭南浦は一キロワ……三錢八厘である、自分は……上有利に交渉する……は財源として繰り入れ……金額だけは利子收入とし……る

て同額だけの譲渡費を得る確信があり又言明も得てゐる、その譲渡金額は目下西鮮合同電氣側としては株券でするやうな計畫であるが現金にするか株券でするかは合併問題解決後更に研究すべきである、尤も株券として貰へば將來西電の經營即ち不可分關係の平壤府電氣料金問題に就て重要な發言權を留保し得る譯し當り府が必要な金額は現金で仕拂はしめる

三、なほ西鮮電氣は合併によつて旨の意思表示をなし午後五時四十分閉會した、なほ次回全員委員會は廿五日午後二時から開會されへられてゐる

平壤府電の行手へ見透しつく

[illegible]

揮發油積んだ艀火事

【群山】二十一日午前九時頃府内泉町英油販賣所所有棧橋に繋留中であつた石油運搬の府内本町協同海運會社所有艀が突如火を發し黑煙濛々天を蔽ひ不氣味な光景を呈した、原因は船頭が誤く禁じられてある船中で喫煙したものらしく目下群山署で嚴重取調べ中商品は府内の森本、佐藤兩頭商石油販賣店買付けの揮發油、マシン油、輕油の一部であつたが損害は燒失艀ともで一萬圓を超ゆる見込みである（寫眞はその火事）

とんだ農振の神様

お妾に暴行を加へた醜警官
遂に一生棒に振る

[illegible]

……不在中、駐在所所在部……の若後妻女は何れも假名……淫猥の嫌疑があると稱して……たので、金某は不審を抱……所に行き内部を覗つたと……調べを受けてゐる筈の妾……にも松本巡査のため落花……狼藉を目撃、激怒した金……に飛び込み松本巡査を……けて詰問し、直ちにその……事局に告訴すべく南原に……が、この事情を知つた所轄……では直ちに山西駐在所に……任を特派して事件の眞相……した結果、右の事情が判……し全州に行くから取押へ……と依頼したが、その時は……適後であつたので更に南……依賴しつひに金某を取押……任實署管内獒樹駐在所へ……誘拐の嫌疑者金某が獒樹……を任實署に押送したとの……ある

八木任實署長は松本巡査とは同期生であり十數年間起居の間柄であるが右金某の送致を受て取調べの結果、意外にも犯罪の嫌疑どころか前記松本の不行跡が暴れ八木署長も松本の非行を初めて知つたわけで責任を問はれ三請地の顛姿警察の假面をはけば彼は農振運動の神様の蔭にかくれて警官に戰急し既に左遷せられたが、なほ松本部長に公稱五、六萬圓といはれ實際には開面部落に貸付けてゐる牛、豚、鷄、現金等を合して三萬圓の私財はあるといはれ、更に彼は一種の色魔で從來も婦女子をこの手段で毒牙にかけてゐたといふ噂すら聞

發動船遭難

三名の乘組員漂流
朝汽白鳥丸が救助

【釜山】廿一日午後二時半頃樹山方魚港十哩の沖合を統營へ向け航海中であつた統營邑吉野町李榮源所有の潛水漁業發動機船（四噸）が機關に故障を生じて全く運轉不能となり折柄の烈風のため沈沒に瀕し船長崔大習（三〇）ほか三名は船尾に縋りついて漂流、九死一生のところを運よく慶北九龍浦から釜山へ向け航海中の朝汽所有白鳥丸（七〇噸）が發見し三上船長以下激浪と戰ひながら死線を彷徨する前記四名の遭難者を救助し廿一日夜入港とともに屆出たので水上署では近く勇敢な白鳥丸船長以下八名に對し人命救助の表彰を申請することになつた

痴漢に求刑

【海州】碧城郡廿二日延白郡銀川面蓮項里趙某の長女で僅か七歲の幼女に暴行を加へ負傷せしめた同里

景勝牡丹台に溫泉

散策客が雪の中から發見
見物の人出で賑ふ

【平壤】景勝牡丹台に溫泉が湧くといふ騷ぎ——府内港町金鐵鎭氏外三名は先月中旬頃乙密台公園を散策中浮碧樓の後方に雪が眞つ白く積んでゐるところから盛んに湯氣が立つてゐるので不思議に思ひ少し掘つて手を當てゝみると溫泉地同様地面がとても溫いので本當の溫泉が湧き出るとしてゐる模樣で掘れば間違ひなく溫泉が湧くだらうといふので前記四名の名義で溫泉採掘を出願の手續き中、假りに當局では採掘所稱地に許可しないだらうとみられてゐるが牡丹台は此頃で時ならぬ人出で賑つてゐる（寫眞は雪の牡丹台ゝが溫泉湧出場所）

悪魔躍る舊歲末の戰慄世相

證據の食刀物言へど容疑者は口割らず

超スピードで檢擧した黃州の强盜

【海州】去る十七日未明黃州公醫李東熙氏宅を襲ひ用意周到にも電話線と電燈スヰッチを切斷し同氏に刃渡り八寸の食刀を突付け脅迫の上金庫を開かせ現金八百餘圓と首巻、手袋等を强奪逃走した犯人は黃州署の嚴重な捜査により翌十八日同郡州南面梁木里李東煥（三）こそ有力な容疑者として本署に引致取調べの結果未だ自供はしないが動かすべからざる的確な證據により眞犯人なること判明、近日中送局の模樣である、右は黃州署がスピードで檢擧するに至つた黃州署金得巡査は犯罪から察して犯人はてつきり地方の內情に通じてゐる者の仕業と睨み直て不審の男李東煥を一應取調べる必要に赴くと食刀が轉つてゐるについたので同人の妻に「何時も使つてゐる食刀を見せよ」と要求したが妻女は食刀がないといふので前記捕まへ共謀の容疑者として同人に送局の依賴して本署に運行せしめる一方金巡査はなほも家宅搜査中折柄何も知らず外出先から歸宅した容疑者の長男の嫁に前記の食刀について念を押したところ嫁は「これは妾が何時も使つてゐる家の食刀である」と確答したので金巡査は眞犯人と信じた喜びで本署に報告したものである

贓品も續々と發見

かくて兒玉署長や應援のため來署中の道警察部成富警部補等搜査本部の一行と共に更に容疑者方に至り家宅搜索の結果犯人が被害者宅から現金八百餘圓と共に强奪した首巻や手袋を廢窯の中から發見、更に二十餘圓の預金をも發見したので愈よ眞犯人に相違なしと斷定し本署に引揚げたが容疑者は犯行を絕對否認し續けるので同署では前記の諸物的證據と證言に基き引續き嚴重取調べを進めてゐる

看守の制服を纏ひ料理屋を襲ふ

現金貴金屬八百餘圓を强奪
永登浦潜伏中ご用

【永登浦】廿一日朝公州署永登浦派出所員は突如永登浦の永田、將兩刑事の應援を得て市内楊坪町方面に捜索を開始し、卅歲位の男を檢擧した、昨年十月廿二日午後ごろ公州邑内料理店角家主人田圭三方に看守の制服を着用して侵入し家人を脅迫の上貴金屬現金等八百餘圓を强奪逃走した光州生れ前科四犯宇郎甄（三）である

順天にも强盜

家人を脅迫
金品を奪ふ

【光州】二十一日午前三時ごろ全南順天邑南亭里金順祚方に覆面强盜押入り家人を脅迫して現金五圓四十五錢、金指一本、白米一斗、衣類等を强奪逃走した、屆出により順天署員が廿二日午前三時同邑豐德里で朝鮮前科一犯吳泰鉉（二五）を容疑者として逮捕取調の結果眞犯人であることが判明した

賭金を强奪

借金に窮して一策
慾深いお米屋災難

【大田】燕岐郡西面雙錢里農業洪錫勳（三〇）は借金整理に困窮の餘り一案を考慮してゐたが、舊臘十五日午後四時頃同郡西面月河里米穀商李殷錄（三九）＝何れも假名＝と會見したのを奇貨に甘言を弄し「賓は江外面中峰里に現金百二十圓を所持し賭博の相手を探してゐる者があるから現金百圓を準備せよ」と誘ひ、十九日午後七時頃にこれを欺き芙蓉川附近の一軒家に誘ひ出して李の所持金三十四圓を强奪すべく渡橋上手の板橋上に差掛つた際、水中に突き落して暴行をなし遂に三十四圓を强奪逃走した事實を鳥致院署で探知、犯人を引致取調べ中のところ二十二日强盜殺人未遂罪として公州地方法院檢事局に身柄を送致された

視學官增員

三道に配置
視學も增員

敎育機關の擴充に努めてゐる學務局では現在江原、忠北、黃海の三道に視學官がゐないので、昭和十二年度からそれぞれ視學官一名宛を任命、さらに十三道に視學二名宛を增員して國民敎育の刷新に乘り出すことになつた

服部孝彥（三）にかゝる强盜傷害事件公判は廿二日海州地方法院で開廷、檢事から懲役四年の求刑があつた判決言渡しは來る廿九日

卅萬圓の空券事件

廿九日公判

【海州】三十萬圓の空券事件として海州財界に一大衝動を與へた精米業者や海運業者を中心とする空券事件の第一回公判は來る廿九日海州地方法院で開廷されるが同日は被告一同か海州の有志だけに傍聽人も至數するものと豫想されるので同法院では約六十枚の傍聽券を發行の豫定である

鐵器泥頻り

金山ご難續き

【江景】鑛床の盜難で滿和鑛業洪錄石場面金山では採鑛に使用のタガネ〃のみ〃等翌日の作業に準備してあるものを夜間竊取に竊取され、既にこれらを江景方面へ賣拂ふやうな狀況で營業者は大に手古摺つてゐるがその他の金山にも同樣の犯罪が多くなつたとのことである

女中を餌に前借金詐欺

麗水の旅館の主人
巧くぺてんに掛る

【統營】麗水邑東町完山旅館主李洋吳は自稱馬山府元町三三九番地梁大こと申桂祚（三七）が朝鮮汽船の船員として働いてゐるのと面識があつたところ去る七日偶然統營山頭浦船客待合室で出逢ひ申が李に對し美貌な女中を世話するからと話を持掛けた、その後李は麗水の自宅に歸つてゐると金泉の李八龍と云ふ魚類商を通じ申が至急來釜方を傳へるので李は十七日急いで出釜し前記申と出逢つて豫て話した女中は既に釜山鎭方面に雇庸中であるから同人を探しに同行方を求め彼處此處を歩き廻り午後になつて瀛州町二八番地沈福吉方に至り李を同家二階に案内の上同家の女中が前借金七十六圓五十五錢を有してゐるが其前借金を出せば直ちに連れ出すと言葉巧に欺き李から前記七十六圓五十五錢を受取り李を同家門前に待たせておいて申は同家裏門から姿を晦ました事が二時間後になつて判り釜山署に屆出たが、同人は慰謝が誘發となつてをり被害者からの屆出もあつたので統營署で犯人嚴探中

平壤の木炭泥棒

【平壤】二十日午後五時頃府内竹園町府電車倉庫裏を徘徊してゐる府内西城里朴善熙（二）を平壤署員が取調べると十八日午前十時頃府内脈町遊廓で木炭九俵を窃取した他十四件約八十圓の窃盜を自白したので引つゞき餘罪取調べ中

船員の行倒れ

【統營】全南麗水郡三山面巣山島郡鄭某花（三五）は新木船の船員となり廿日午後六時頃統營邑吉野町表洪探商店前海岸道路で急性腦膜炎を起し死亡したのを通行人が發見統營署に屆出たので檢視の上死體は統營邑に引渡したが現金十圓六十二錢を所持してゐた

青年の身投け

【釜山】廿二日午前六時すぎ府内大橋通りの海岸から投身自殺を企てた青年があるのを水上署で救助し保護中であるが同人は咸陽郡安義面新東里尹錫晉（三）で最近まで大阪市旭區大宮町八丁目で働いてゐたが去る十九日大阪から歸來し無一文となつて生活苦から極度に悲觀し自殺を企てたもので多少精神に異狀があるらしい

光州南原線

測量を開始

【南原】光州南原線分岐點問題で南原郡期成會が死力を盡した結果當局もこれを諒とし十六日から測量班が現地に出張、測量を開始した、南原鐵道期成會はこれに呼應して各班の委員が東奔西走、寢食を忘れて活動を續けてゐる

釜山のロープ泥

【釜山】最近釜山港内に碇泊する大小船舶でロープの盜難續出のため水上署で警戒中廿二日拂曉四時ごろ牧の島瀛州岬海岸を徘徊する怪鮮人を水上署の田島巡査が發見、格鬪の末逮捕した、同人は金海生れ住所不定黃大根（三）で前記ロープ專門に荒し廻つた犯人と判明餘罪取調べ中

江原警官異動

廿一日附發令

任警部、警察官敎習所敎官を命ず（江陵）警部補　中野　勝
（楊口）警部　竹内　治憲
補平昌警察署長（警務）同　渡邊　清
補楊口警察署長（江陵）巡査　高垣　元
任警部補、旌善警察署勤務を命ず（三陟）警部補　大森　幸一
警察部警務課勤務を命ず（旌善）同　北村　大
江陵警察署勤務を命ず（金城）同　山田　辰夫
三陟警察署勤務を命ず（華川）同　伊東靜之助
寧越警察署勤務を命ず　同　田中　武俊
金城警察署勤務を命ず（旌善）同　中村　孚
華川警察署勤務を命ず（平昌署長）警部　遠藤福太郎
依願免本官（各通）（敎習所）警部　松岡　薫

おどろばーる

◇……【裡里】コナタ金貸の成功者牛塚勘太郎君が料理屋の成功者田代林平君が或る宴席で隣合はせての珍問答
◇……牛塚『俺も隨分辛抱して來たがもうそんなにケチケチせんでもいゝから……どうだい一ツ田代さん、思ひ切つた事をやつて見たいがアンタも負けん氣の仁だワシと張り合つてドンナ散財でもしてみる氣はないかネ……』
◇……田代『ナル程そりや面白い俺も負けん氣の男、アンタがそう出りや一つホントにやらう、逃げちやいかんぜ』
◇……牛塚『ヨーシ來た何んでも持つて來い』
◇……田代『それぢやから しよう、俺は現在商賣の全貸掛金を無條件で棒引する、サア牛塚さんアンタの貸金一切を棒引してワシに張り合ふかね』
◇……牛塚『ウン……』
◇……牛塚君の貸付金はザット十萬圓、田代君の賣掛金はザット二萬圓也

本店　大阪市東區北濱五丁目　電話北濱　五九〇一——五九〇九

債券　公社債、外貨債及勸業債券等御好みの銘柄が揃つてゐます。

株式　誠實を旨としてゐます、投資相談部を御利用下さい。

金融　公社債、株式擔保の貸付、手形割引、資金の仲介等簡易低利に御願ひ致して居ります。

門司支店　門司市東本町二丁目三十一番地
其他支店所在地　東京・横濱・福島・名古屋・金澤・京都・神戸・岡山・廣島・福岡

もう一杯！下戸も重ねるうまい酒
銘酒　富久娘
花木本家吟醸

胃酸過多

胃潰瘍・胃痛・宿醉に

胃酸過多症とは

食後、胃に壓迫感があり、二三時間經つと、きまつて胃痛を伴ひ、噯氣が出て酸つぱい生水が口をつく等の症狀を訴へたら、先づ胃酸過多症に陷つたものとみねばなりません。

その原因は……神經質や精神の過勞興奮、心痛などの中樞性刺戟によることがあり、又刺戟性、不消化性食物、咀嚼不充分、過度の飲酒、喫煙等の末梢性刺戟によることもあります。

之等の症狀は……胃腺の胃液分泌が亢進して、食物の消化に必要以上の胃酸が分泌され、それが胃の粘膜を刺戟して苦痛を惹起すものですが、單に一時の症狀として治療を忽せにしてゐると、過剩の酸が絕えず胃粘膜を刺戟する結果、胃壁はひどく荒され、遂には糜爛を來して胃潰瘍となることがあり、治り難くなるものです。

制酸と鎭痛

胃酸の調整と胃壁の保護

① **ノルモザン錠**は**珪酸アルミニウム**を主成分とし、先づ胃粘膜を全面的に被覆防護して患部又は潰瘍面に及ぼす胃液の刺戟を防ぎます。

② 次に**ノルモザン錠**は胃中で徐々に分解して珪酸と塩化アルミニウムとなり**珪酸**は過剩の胃酸を吸收して酸度を低下せしめ、一方**塩化アルミニウム**は胃腺を適度に收斂して胃液の分泌を制限し、疼痛を緩解します。

③ **ロートエキス**を配してありますから、胃粘膜過敏による疼痛を一層緩和しその効果を增强せしめます。

如上の諸作用は相俟つて胃液の分泌を抑制し、過剩胃酸の生成を阻止しますから患部に及ぼす胃酸の刺戟を防ぎ、潰瘍面の治癒を促進します。

ノルモザン錠

【藥價】
三回分携帶用容器入(二〇錢) 三日分(五〇錢)
一週間分(一圓) 十六日分(二圓)
一ケ月分(三圓五〇) 二ケ月分(五圓)

發賣元 株式會社 武田長兵衛商店
大阪市東區道修町

關東代理店 株式會社 小西新兵衛商店
東京市日本橋區本町

日獨協力巨大作 新しき土

世界縱斷封切迫る

日獨映畫『新しき土』が愈よ完成、來る二月三日東京はじめ日本主要都市と伯林で世界縱斷封切が行はれる、この封切ラインに京城も加はり同日若草映畫劇場に封切が敢行されることになつた

『聖山』以來『死の銀嶺』『モンブランの嵐』『SOS氷山』『モンブランの王者』等山岳映畫、自然映畫で世界一の稱あるアーノルドファンク博士が日本を背景にして、その自然と人間の姿を描かうとする野心作で獨逸側のファンク一黨に對して日本側から『赤西蠣太』の伊丹萬作監督始め日活PCLの各部部の他世界的に定評ある早川雪洲が出演し、文字通り堂々たる日獨合同の作品が完成されたわけである

即ち日活から『人生劇場』の小杉勇、東京發聲映畫の市川春代『河内山宗俊』『生命の冠』出演の十七歳のスター原節子、老練高木永二、中村吉右が出演し、PCLは英百合子をこれに應援させてゐる、獨逸女性として出演するルート・エヴエラーは先頃『マヅルカ』に出演して認められた獨逸映畫界切つての新人女優で當年十九歳である

撮影はモンブランの嵐以來ファンクの首腦キャメラマンとして活躍してゐるリヒアルト・アングストが擔當しサルタートリーム及びJOの上田勇がこれを援けてゐる、編輯のルドウイヒ女史は『黒衣の處女』の編輯者である【寫眞は『新しき土』の原節子】

豪華篇をずらり 春を待つ洋畫

既成スターの一せい進軍

愈々正月興行も一段落告げて問題の國際映畫『新しき土』封切で二月の端枯期に話題を提供する外畫界がこれに次いで陽春三、四月のシーズンに放つ大作を打診すると今春こそは文字通りの絢爛たる豪華篇がズラリと並んでファンを樂しませる、先づ新春劈頭大作なしで珍しくも振はなかつた外畫の大御所パラマウントには巨匠デミル老の新作でゲーリイ・クーパー、ジーン・アーサー主演の『平原の[illegible]』の大物監督フランク・ロイドの下にクローデット・コルベールとフレッド・マクマレーが主演した『セイルムの娘』があり、メトロにはノーマ・シアラーとレスリー・ハワードが顔を合はせたジョージ・キューカー監督の藝術至上篇『ロミオとジュリエット』やワイズミュラーの『ターザンの逆襲』といふ大衆映畫の黄金版が控へてゐる、フオックスにはドン・アメツシュ、ロレッタ・ヤングの美男美女主演になる總天然色映畫『ラモナ』にシモーヌ・シモン、ジャネット・ゲイナー、コンスタンス・ベネット、ロレッタ・ヤングといふ豪華女優軍の『戀する女達』があり、ユナイトにはディトリッヒとシャルル・ボワイエ主演の總天然色映畫『沙漠の花園』コロムビアには問題の二百萬弗映畫リスキン・キャプラ作品コールマン主演の『失はれた地平線』ワーナーにはエロール・フリーン主演のスペクタクル『進め龍騎兵』RKOにはバーヂェス・メレデス、マーゴ、エズワルド・チャネリ主演の『ウインターセット』や名歌姫リリイ・ポンスの新作『巴里から來た娘』が提供され、歐洲物ではアレキサンダー・コルダ監督名優チャールス・ロートン主演の『描かれた人生』やジヤック・フェーデ監督フランソワーズ・ロゼエ、ジユン・ミユラー主演の『女だけの都』アベル・ガンス監督アリー・ボール主演の『樂聖ベートーヴェン』等が大作として登場する

映畫監督の一人二役

珍ペン・ネーム續出

◇……映畫監督のペン・ネーム、どうも本名を名乘つたらてれ臭い、それは自分の脚本に手を附ける時とか、その作品を大きく見せたいといふ會社側の意向から、使用されてゐる場合が多い、それを良いことにして、映畫監督たちは盛んにペン・ネームを使つて、脚本執筆だけならばまだしも、こゝ、時によれば雑文稼ぎまでするといふのだからなかなか大したもの――それで、一二流監督はどんなペン・ネームの蔭に隠れて、書きまくつてゐるか？一寸此處に、有名なのを御披露すると

◇……先づ最初に槍玉にあがるのは、何といつても下加茂の井上金太郎の秋篠珊次郎で、彼はこのペン・ネームを、七八年前のマキノ時代から使つてゐて、現在でもそのペンネームが、映畫脚本の執筆の場合は、その本名よりも評判になつてゐるとか――同じ下加茂の二川文太郎も、このペンネームの脚本執筆が好きとみえて、紫之蘭乙馬といふ時代もの、お小姓みたいな名前で盛んに書きまくつてゐるが、そのペン・ネームも一つだけでは淋しいと思つたのか、この一二年前から駒田通といふ影武者を出して、同じやうに活躍させてゐる、御同様に、ペン・ネームを二つ持つてゐるのは大都の近所平之助で、その名も澁谷三平、桃園狂太といふ、如何にも近所好みらしい名前である

◇……清水宏も、以前は南部綾子の女性の名前にかくれて、盛んに脚本を書きまくつてゐたが、それが清水宏の影武者であると判つて以來、あつさりこれを解消、そして現在は、澁谷天空と源教達の二つを、丁度五線譜の符つやうにあざやかに使ひ別けてゐる、このペン・ネームの二組には、曾根純三の[illegible]と九鬼[illegible]――落しどうも九鬼[illegible]子なんて名前は運命判斷の名人みたいで、映畫脚本家らしくないと、友人達にいはれてからといふものは、あまり此のペン・ネームは見られなくなつてしまつた、いま新人として新興の高い脚本部[illegible]太郎も、鈴木一郎と南[illegible]二郎の二つのペン・ネームを持つてゐる

◇……最近PCLへ迎つた瀧澤英輔は、多久川晋吾といふ妙なペン・ネーム、そして木村恵吾も同じやうな瀧川十三郎といふ、何處を探しても、そんな姓のものはあるまい、と思はれるやうな名前を使つてゐる有樣、しかし古海卓二は何と慾張り千葉にも、名取裕九郎、山夏樹、高崎藏太郎といふペン・ネームをよく使ひ別けて、しまひには何を使つたか頭がくしやくしやしてしまふといふ、ペン・ネームを使ひ過ぎて困つたといふ小話さへも持つてゐる監督だ、が、最近盛んに脚本を書きまくる脚聯金八のペン・ネームは、山中貞雄、稻垣浩、三村伸太郎、瀧澤英輔、八尋不二、藤井滋司、土肥正幹の七人の寄合世帯であるといふことは、あまりにも有名――といふ、以上のペン・ネームにかくれて、映畫監督たちは盛んに、脚本や雑文を書きなくつてゐるやうである

不連續線

男の場合

「君、君」
「何だい」
「あの正木といふ男が、君のことを褒めてゐたぜ」
「正木ッて」
「ほら、この間の會の時に、僕が紹介したらう」
「あゝ、あの何とか課長か」
「うん。さうだよ。」
「どういつてたんだい」
「あんなに紳士的で、あんなに頭腦の冴えた人はないッて」
「よせやい。おごらないぞ」
何だか、ひやかされてゐるやうな氣がした。自分の心を試されてゐるやうな氣もした。
「君、君」
「また、誰かゞ褒めてたのかい」
「うん。實は」
「駄目だよ」
「ところが、今度は男でなくて、女なんだよ」
「どこの」
「僕の家の女中だけど」
「あのしもやけの手をした」
「うん」
「何て」
「君のことをね。おとなしいッて」
「ふゝゝゝ」
最大限の言葉で男に褒められるよりも、最小限の言葉で女に囁されることの方が、男には樂しい愉悦がある。しかし、女の場合だつたら、全然、それを逆に當て嵌めて考へても、大體、間違ひではあるまいと思ふ。

銀◦幕◦春◦秋

入江城あまりに堅かりき

成瀬巳喜男の眼に映じた入江たか子もやはり私達のいふ銀幕の女王入江たか子であつた、もつと彼女から何か新しい魅力を見出さうとしたには相違なかつたらうが入江の城廓は固く閉されて動かなかつた、それは入江が餘りにも順調に興隆のスターとしての道を歩み續けて來たことに原因してゐると思ふ、十年餘の間に彼女が築いた彼女の城廓の強さは幸か不幸かそれ程ガン！とした何かを有つてしまつてゐる、その故に彼女のファンは「入江、入江」と憧憬を寄せるのであるが、彼女の今までの良さ以外に何かを成瀬から描き出して欲しかつた、ヴイナスの像をみつめてゐた成瀬はとに角あつちらへ、こちらへ、とスラ〳〵彼女を動かした、しかしどうも結局新しい魅力を感じなかつた、それは成瀬の採り上げた題材そのものがもうそろ〳〵彼が卒離すべきものであつたことにもよらうが、それだけに手慣れた手法で新派に贈ちさうなテーマを新しい解釋で持ち耐えてゐる、入江に新しい前進をするためにも成瀬の飛躍のためにも感へ有な今の世界から脱け出して欲しい、この『女人哀愁』はPCLのものとしてはかなり大がかりな興行価なものであることも附け加へて置く【K】

氣のきいた演出で ジャズと舞踊の夕

卅日・卅一日兩府民館大ホール

主催　京日・毎申社會奉仕團

京日毎申社會奉仕團では來る卅日(土)卅一日(日)の兩夜京城府民館にジャズと舞踊の夕を催し、收益を困境者に贈ることになつた、出演はさきに渡邊はま子獨唱會で人氣を博した半島唯一のCMCジャズ・バンド並に半島の人氣歌手でCMC文藝部の嶄新な演出により賑かに唄ひ踊りぬからといふ趣向で、この種の催しとして最初のものであるだけに早くも各方面の話題を賑してゐる（寫眞はCMCジャズ・バンド）

新◦映◦畫◦二◦つ

瞼の母〔上〕　秋怨〔下〕

長谷川伸氏名作を瀧古映畫化する日活千惠藏映畫、監督は衣笠十四三、番場の忠太郎を千惠藏、おはまは常盤操子が特別出演してゐる【寫眞は千惠藏の番場の忠太郎】

サンデー毎日所載片岡鐵兵原作を映畫化した大船作品、監督は深田修造、出演は三宅邦子、森川まさみ、坪内美子、山内光、徳大寺伸【寫眞は徳大寺と坪内】

學藝だより

◇朝鮮寫眞協會――廿五日午後五時から花月支店で開き十一年度の賞品授與式を行ふ、受賞者は次の通り▲年度賞高田涌平▲推奬賞飯塚十郎、保坂國平▲推薦賞西[illegible]本田敬一、飯塚十郎、中島強、中根秀、古林清又、鄭[illegible]

◇眞人曜新年歌會　廿四日(日)午後一時から京城倶樂部で開く詠草一首本町二丁目椎木美代子氏あて送附のこと、當日は田中初夫氏の講演ある筈

來城の日を樂しみに 樂聖を語る

府民館に　京城樂壇人の集ひ

待望エルマン

十七年振りに圓熟の技を携へて來城したエルマン氏は廿一日から非常な期待の中に東京日比谷公會堂の舞台に立つたが、奇しくも當日はエルマンの四十八囘目の誕生日で、さぞエルマンも感慨深い演奏をなしたことであらう、東都で五日間の演技を擧つて關西へ向ふことになつてゐるが、この提琴藝術の最高峯を半島好樂ファンの前に是非とも迎へたいものと本社で種々折衝した結果二月廿三日京城府民館で半島樂壇史に記念すべき一頁を加へる企てに成功した

『エルマン來城』の報は全半島の好樂家に大きなセンセーションを捲き起してゐるが本社では廿一日午後八時から京城府民館階上で在城の音樂關係者を網羅してエルマンを語る夕を開催した、上野京城大教授、竹井同教授、大塚明之助氏、金管氏、スターキー女史、ビクターから伊藤宣傳部長、本社からは池田主筆等列席、卅余名の集ひであつた

上野氏は語る

『十七年前東京帝劇で妙技を聴き、更に外遊中にも接し、今度は三度目であるが、愈よ圓熟した彼の來城が待たれる』大塚氏『東京で學生時代に聴いて以來、エルマンのレコードに夢中になつた』金管氏『エルマンの誕生日にこの集ひは大變嬉しい』

お互ひにエルマンの藝術への憧憬を寄せてエルマンのビクターレコード吹き込みの際作『ユーモレスク』と『ロマンス』が演奏されるとスターキー女史が流暢な國語で『この曲です、ユーモレスクでした、エルマンが紅顏の頃の一九〇八年ですから確か十九歳でしたらう、私の故郷アメリカのオハイオ州クリーヴランドで房々とした黒髪を垂れた藝術家の情調豐かな妙技に醉はされました、あれから何年ですかね？寫眞で見ると白髮ですから隨分圓熟したことでせうお懐しい…』と感激して語つた、次々と話題は賑つて午後十時半『エルマン來城の日』を待ちつゝ散會した

白磁會展覽會

初等教育に携はる一方美術に精進してゐる池田正輔、露田正尚、水川賀の三氏は昨年自畫の研究グループを結成し第一回展を開き好評を博したが二十二日から二十四日まで三日間京城三中井ギャラリーで第二回小品展を開催し江湖の批評を仰ぐこととなつた（寫眞は會場のスナップ）

粂平内 (57)

小金井蘆洲 演
福田勇 畫

妙な修業者（三）

長兵衛は前にいつた通り、本宅は下谷幡随院前であつて、此方の家へは折々浩然の氣を養ひに來るのである。

『お酌を致しませう。一向召上がられるやうな物もございませんが明日は何かお口にあふ物を揃へます。どうか御勘辨を遊ばしませ』

『いや、これは御内儀でござるか。拙者は粂平内長守と申す浪人。極めて武骨の田舎者でござれば、よろしうお交際下され。何の因縁もござらぬお宅へ、夜中に推參仕り御迷惑をかけて相濟み申さぬ』

『もし平内様、さう御丁寧なお言葉ぢや恐れ入つて了ひます。これやア女房ぢやアねえので、早く申せば妾でござえす……だが旦那え、貴方は今因縁がねえと仰しやいましたが、所謂因縁のねえ奴ゃございません。平松様の御主人には平生わつちはお引立を蒙つて居りやす。また貴方が今御逗留の坂田様にもいろ〳〵お世話になつて居る者でございます』

『ふむ世話になつて居らるゝと、それやまた何ういふ次第で坂田氏をご存じかな』

『はい、詰らねえ事をお聞かせ申して濟みませぬ。實はわつちの親は塚本伊織と申しまして、元は寺澤兵庫頭の家臣でございます。これでも元々からの町人ではねえので、へえ幼名を伊太郎といつて居りましたが、父伊織が死亡いたしました後は、本多様の御家來であの坂田勝十郎様の御同役、櫻井庄右衛門と仰しやる方のお屋敷へ奉公をして居りました。するとお隣の屋敷の槍術の御指南番逆坂傳八郎といふ方が餘り傲慢無禮なお方で或時わつちの主人櫻井庄右衛門様を辱しめた腹立ち紛れに、櫻井様からお暇をもらつて、逆坂屋敷の傳八郎に喧嘩を吹ッ掛け、對手來なた腕ながら對手を斬つて殺しました。すると本多の殿様はわつちの罪をお許し下すつた上に、知行二百石で召抱へようとの有難いお言葉でございました。へー然し死んだ父の遺言には潰れた寺澤の本家が再興になつたら奉公をしろ、外の大名旗本へは決して奉公はならねえと、固く申渡されて居りましたから、殿様にこの由を申上げお斷りを致しましたところ、殿様は大層な御立腹で、予の云ふことを聞かぬ不埒な奴とあつて改めてお召出しになり、斷りお構を以て話だけのお御手當。下谷の幡随院といふ寺中へお預けといふのは表向、殿様のお骨折によつて名も長兵衛と改め、後見に本多様がついてゐて下すつて諸大名の屋敷に人入れの稼業、今ぢやその元締を稼業にして、有難いことには親分とか元締とか云はれて少しは人に持て囃され、誰方様にも顔を知られるやうになりました。これといふのも皆本多様のお蔭でございやす。そんな譯で御指南番の坂田様にも御贔屓を願つて居りますんで、丁度昨日貴方のお噂を坂田様からも伺つたところでした。』

と、短く話した身の素性、平内は聞く度毎に感心して、

『成程、それぢやア誰でも御存じの譯、いや流石は寺澤兵庫頭殿の御浪人、武藝といひ御精神と申し、いやはや天晴れなる御心掛け恐入つた。』

話はなか〳〵盡きようとはしない。

響よく話を切上げ、その夜は豁りに就いて翌朝となつた。約束の通り、乾兄の一人が平松監三郎の屋敷へ出向いて、黒羽二重の衣類に博多の帶、袴から羽折一通り取揃へて持つて來た。

『これは〳〵どうも忝い』

と、それを着こんで座敷を出れば、はや酒肴の用意が出來てゐる。

『さア平内様、ゆつくり召上つて下さいまし。追々何か拵へますから』

頭へも置かぬ長兵衛の待遇しに平内は頭を掻いて、

『いや、どうも……恐縮でござる』

僅か一夜の馴染だが、共に十年の知己のやう。

皇紀二千五百九十七年　昭和十二年一月二十四日　京城日報　(日刊)　第一萬四百八十四號
京城日報　朝刊
改造　二月號　八十錢
支那の近狀を報告す　山本實彥
岐路に立つブルジョア政黨　大森義太郞
後繼內閣論　寺池淨
北洋漁業の癌　蜷川虎三
日本國民に警告するの書　王造時
小說　七代將軍の吉白　武藤直治
侯達と志摩氏　鶴田知也
惡の序章　尾崎士郞
ひとの男　宇野千代
二・二六事件一周年　淸澤洌
廣田內閣の審判
日本外交論　伊藤正德
社會大衆黨の立場　關口泰
「時事新報」の解散　鈴木茂三郞
法律時論　末川博
怪奇實話　破獄囚『禿げ髮』　小栗虫太郞
風雲兒・張學良　山上正義
米國瞥見　小泉信三
東アフリカより　小島威彥
世界情報
結婚珍話　石黑敬七
ブウシキン百年祭　實行する文學　室生犀星
臨時議會特別の使命　佐々木惣一
創作　神を審判く
谷口雅春著
有神論か無神論か著者畢生の努力になる空前の藝術的一大作品!
發行所　東京・麹町・元園町　太陽閣
恐怖か戰慄か新興日本に對する世界の赤裸々なる此批判を聞け
世界は日本を何う見る?
法學博士　米田實序
國際情勢研究會編
商業登記公告
法人登記公告
パイロット高級インキ
日本特許　英國特許　米國特許　佛國特許
三大全集を一冊にした　空前の大附錄
妊娠と安產と育兒法
主婦之友　二月號の大反響
產婦人科博士も小兒科博士も大激賞!!
一流產婆方も大病院も皆びつくり!!
お奧樣も中年の奧樣もお孃樣も大喜び
手術せずに自分で出來る美人に改造する新美容法
作って直ぐ賣れる內職向き手藝品の作方と賣り方
王冠をかけた戀!! 前英帝とシンプソン夫人の大悲戀の眞相發表の大特種
性知識の大寶典
婦人の就職試驗にキット採用される秘訣
入學試驗に愛兒を合格させる一ヶ月指導法
警異!!空前の大賣行
大特價　六十錢
東京神田　主婦之友社

後繼内閣の首班は誰

現下喫緊の要務は公正强力なる政治
徒らに黨利黨略を事とするは遺憾
陸軍省聲明を發表

【東京電話】陸軍省では二十三日午後九時當局談の形式で左の如く聲明した

陸軍省發表

陸軍當局談＝陸軍大臣が辭表を奉呈するに至つた理由は大臣談に明かであるが茲に陸軍の一貫せる抱負を述べれば左の通りである、陸軍の企圖する國防國策の大方針は國防觀念を明徴にして内外の積極的政策を遂行することである、惟ふに世界大戰後益々激に變轉せる思想、經濟、國際關係などに對處すべき我國政が是らの事情に即應せず、國家を窮境に陷れ國民生活を極度に脅迫せしむるに至らんとするや偶々滿洲事變の勃發となり、爾來帝國が東亞の安定勢力としてその平和を保障し諸國と共存共榮を圖り以つて我が民族の生存發展を期する積極的國策を遂行する必要いよ／＼切なるに至つたのである、我國人口問題も國民生活安定問題も總てこの大國策の遂行以外に解決するに由なく、若し之を怠り現狀を以て滿足せんか現下の國際情勢下においては國勢日に退きます／＼窮境に陷るのは明かである、この秋に當り躍進日本を確保せんがために宜しく既に企圖せる國防計畫を遂行するのみならず庶政一新政策を具現して國民生活の安定を期することが我が國策の大綱でなくてはならぬと確信するのである、しかして前述の大方針と國策の大綱を遂行せんがためには特に帝國獨特の憲法の眞髓を發揮し公正强力なる政治を斷行することが現下緊要の要務である、しかるに政界の現狀は時局の認識を缺き徒らに黨利黨略を事として消極退嬰的現狀維持に墮しつゝあるのは誠に遺憾とするところである、斯の如き現狀においては宜しく舊套を脫し姑息なる妥協苟合を排擊し眞に民意を暢達する如く政界の根本的革新肅正を斷行することが現下政局收拾の要件であると信ずるものである

總辭職より先に私は辭表を提出
寺内陸相語る

【東京電話】寺内陸相は午後八時二十五分陸相官邸にて次の如く語つた

現下の政情は自分の信念と異なるものがありますので昨二十二日辭表奉呈の手續を執りました、斯くの如き情勢に立ち至りましたことは濱田君の演説がその原因であるかの如く言はれてゐる向もあるやうですが決してさう云ふ譯ではありません、現内閣の政策遂行に協力するために閣僚を送つてゐる政黨の議會開會前における黨大會における宣言決議並に議會休會明け第一日における黨代表の演說質問の趣旨に徵して明かなる如く時局に對する認識が我々と根本的に異なつてゐることを確認したからであります、惟ふに現下の情勢は根本的に時局に對する認識が異るものが苟合妥協に依りて糊塗することに依つては到底乘り切ることが出來ないと思ふのであります、之を要するに斯くの如き情勢の下におきましては本職が就任以來の使命として微力を全うして參りました軍規肅正國防充實、庶政一新等到底遂行出來ないと信じますから茲に骸骨を乞ひ奉つた次第である、即ち私辭表は總辭職よりは先に提出されたのであります

陸軍の要望する内閣

【東京電話】次期内閣に對し陸軍方面の期待する處は

一、既成政黨は自由主義思想を基調とする現狀維持と政權獲得のため黨略を事とするに適さず何等の誠意も認識もなく之に基く政策も持つてゐない、斯の如き政黨と行を共にしては庶政一新を實現することは全然不可能なるが故に次期内閣は一名たりとも既成政黨の參入が閣僚たることは欲しない

一、少壯にあらずんば迫力あるものでなければ革新政策の實施が困難なるを以て次期内閣は少壯革新分子を以て組織せる强力内閣たることが必要である

一、現行内閣機構通りに閣僚全部を決定することは庶政一新の必須要件たる内閣機構改革の第一階梯なるが故に次期内閣は少壯閣僚内閣として積極的に簡捷となし極めて速かに且つ徹底的に機構改革を斷行する要がある

一、既成政黨にして何等反省する處なくば政府は議會の解散を斷行する決意を要しよう

一、既成政黨の反省の機會を促進すると共に正しき時代認識を確實に把握する議員並に政黨が出現することが眞に緊急事である等の諸點にあり速かに正しく强力なる政治に邁進し眞使命に邁進するの機會が確立して之等の政治の指導を爲し陸軍大臣は政治の指導者的協力たるか如き態度を捨て一日も速かに軍の本務たる軍務に專心し得る新時代を招來せしめんとするにあり、而して之が實現を見る迄は世の凡ゆる毀譽褒貶を超越して所信に邁進せんとする決意と見られる

湯淺内府に御下問

【東京電話】天皇陛下には廣田首相以下各大臣の辭表奉呈後湯淺内大臣を召され、後繼内閣に關し御下問あらせられたので湯淺内府は**謹みて後繼内閣に關しては元老たる西園寺公に御下問あつて然るべき**旨を奉答し種々御下問に奉答し御前を退下し、控室において百武侍從長と重要協議をとげ、午後六時四十分宮中を退下した（號外再録）

【寫眞は上から近衞、宇垣、平沼、末次、大角、林の諸氏】

後任陸相下馬評

【東京電話】廣田内閣崩壞に伴ふ後繼内閣組織の場合何人が大命を拜して組閣に着手するとしても、最も重要視されるのは陸軍大臣に何人を求めるかにあり目下最も有力視されてゐるのは教育總監杉山元大將、朝鮮軍司令官小磯國昭中將、關東軍參謀長板垣征四郎中將の三人でこのうちから選ばれることになるであらうが、杉山大將の就任が最も無難視されてゐる、然し後繼内閣首班の如何により積極的革新政策に乘り出す場合板垣中將が有力視されてる（號外再録）

次期内閣對策
陸軍首腦部協議

【東京電話】杉山教育總監、西尾參謀次長、梅津次官、磯谷軍務局長等は二十三日午後六時陸相官邸に參集、次期内閣に對する態度につき協議をなし更に閣議より歸來した寺内陸相より閣議の狀況報告を受け今後の對策につき意見の交換を行つた

海軍首腦部官邸に參集

【東京電話】海軍では二十三日午後六時三十分海相官邸に永野海相、山本次官、島田軍令部次長、豐田軍務局長、清水人事局長等首腦部が參集、晩餐を共にしながら時局につき意見の交換を行つた

安藤政友幹事長談

【東京電話】非立憲の停會から閣僚間の意見不統一を來し遂に内閣が總辭職となつたことは當然の歸結である、我黨はこの停會は非立憲であり從つて我黨出身閣僚は更に非立憲不合理な解散に同意すべからずと決議したが幸ひ我黨の主張通りなつたことは我國立憲の大道すたれざることを證明したものである、さて後繼内閣については徒らに私議すべきでないが刻下内外多難の際政黨を根幹とした眞の國民一致内閣が出現して軍民一致をもつて非常時局を克服せねばならぬと思ふ（號外再録）

内務首腦會議
治安維持對策

【東京電話】内務省では内閣總辭職後の全國治安維持の重大性に鑑み二十三日午後五時二十分から内相官邸に首腦部會議を開き湯澤次官、萱場警保局長、早川縣務局長外關係官出席、重要協議を行つた結果萱場警保局長の名を以て各地方長官に對し「政情不安の折柄管下の治安維持につき萬遺漏なきを期せられたい」旨通牒を發した

百武侍從長けふ御内意を園公に傳達

【東京電話】百武侍從長は陛下の御内意を拜して興津の西園寺公に傳達することになり宮内省侍從職新山庄吉氏は右御内意を携へて二十三日午後九時東京驛發西下した、同夜は靜岡市の大東館に一泊、二十四日朝八時西園寺公邸に赴きこれを傳達、即日歸京する筈である（寫眞は百武侍從長）

原田男興津へ

【東京電話】西園寺公秘書原田熊雄男は二十三日午後二時二十分宮中にて湯淺内府、百武侍從長と會談の後六時二十六分退下しついで原田男は各方面の人々と會見した上午後七時半東京驛發興津に赴き西園寺公に對し具さに諸般の政情を報告することとなつた

民政黨首腦部會議

【東京電話】急轉直下廣田内閣は途に瓦解を見るに至つたので民政黨は今後の政局に對し善處すべく二十三日午後七時牛込の町田總裁邸に首腦部會議を開き各方面の情報を持ち寄り慎重協議を行つたが更に二十四日午後三時本部に代議士會を開くことになつた

新内閣によるも議會解散は免れず
後任首相は諸說紛々

【東京電話】後繼内閣は何人の手によつて組織されるか目下のところ近衞内閣、宇垣内閣、平沼内閣及び末次内閣、大角内閣、林（銑）内閣等諸說紛々たる有樣で何れに決定するか全く不明であるが何れにせよ陸軍の庶政一新要望は可成り强硬なるものあり、結局革新意識の一層强い内閣が實現するものと見られるので從來陸軍が提唱し來つた行政機構改革も或る程度斷行するの要あり、從つて政黨から黨代表の閣僚をとらず閣僚數は成るべく少くして官の總合に備へるのではないかと見られ内外の重大時局を正しく認識して國防充實、國民生活安定に遺憾なき樣適切なる革新政策を遂行することゝならう、後繼内閣が政黨と協力しない限り政民兩黨は反對派の立場に立つことゝなり結局新内閣の手で解散は免れないであらう而してこの解散を契機として新政黨運動は活潑に表面化するのではないかと見られる

西園寺公は上京せず

【東京電話】西園寺公秘書原田熊雄男は二十三日午後七時半東京驛發列車で興津に赴き西園寺公に對し詳細に諸般の事情を說明するところあつた、從來の政變に徵すれば園公は御召しにより上京した上後繼内閣首班を奉答する慣はしであるが今回の内閣更迭は政黨と軍部の正面衝突により齎されしかも陸軍側の意向は後繼内閣首班の如何によつて陸相の入閣を斷乎拒否せんとしてゐるので奉答は容易ならずと見られてゐるので園公は後繼内閣首班奏請の勅命を受けた場合は極めて慎重な態度をとり直ちに上京せず湯淺内府、松平宮相その他の重臣連と連絡をとつて御下問に奉答するものと思はれる（號外再録）

潮内相語る

【東京電話】潮内相は廿三日内務首腦部會議散會後左の如く語つた

後繼内閣の問題は今日の最終の閣議を散會して後雜談的に種々の話が出たが私の考へでは決定までには少くとも十日間位の日數がかゝるのではないかと思ふ現に廣田内閣組織よりずつとむつかしい情勢にあるのは事實だ

有田外相勅選辭退

【東京電話】廣田首相は二十二日閣議席上有田外相を勅選に奏請したきと發言したが有田外相は自分は感ずる處あるからこの際は勅選を辭退したいと述べたので外相の勅選奏請は取止となつた

大日本青年黨が議會解散を聲明

【東京電話】橋本欣五郎氏を總裁とする大日本青年黨は二十三日午後一時議會即時解散和協排擊の聲明を發表首相、陸相並に海相に提出した

政黨政治を叫ぶ
濱田國松老大氣焰

【東京電話】投げつけた爆彈が破裂して内閣遂に總辭職……その爆彈男濱田國松老は内閣總辭職に決定した二十三日午後四時本部から牛込區仲町の私邸に引揚げて來た、總辭職の報を電話で受けた濱田老は完爾として氣焰をあげる

ワシが政府をブッ潰したのはこれで二回だ、大正十三年清浦内閣を仆したのはワシぢや、そして一昨日の演說だ、寺内陸相の言が正しかつたかワシの演說が正しかつたか今明かだらう、ワシは寺内陸相を攻擊しようとは思はなかつたが相手が喰つてかかつたから反擊したまでぢや、だが寺内君には萬斛の同情を持つてゐる、寺内君の本意から出た言葉ぢやあるまい、下から押し上げた力が陸相としてあゝ云はしたのだらう、寺内君には誠に氣の毒だと思つてゐる、寺内君は稀眞明朗愛すべき人だ惜しむらくは政治を知らぬ、ワシは解散六分と信じてゐたが永野海相が調停に立つたと聞いて「これは内閣總辭職だな」と思つたサア後繼内閣はなか／＼むつかしいぞ、政黨は今勉强しなければならぬ時だ政黨が憲政を運用しなければならぬといふことが今次第にはつきり分つて來ると口を突いて出る氣焰は政黨政治高揚の氣魄が鋭く閃めいた

開會中の總辭職は今回が二回目

【東京電話】議會開會中に總辭職を決行した先例は大正元年十二月二十日成立を見た桂内閣が第三十議會開會中の大正二年二月に總辭職したとあり今回は二回目である

最惡の場合で一部修正程度か
◇――本府明年度豫算と政局

第七十議會は停會、續いて廣田内閣は廿三日總辭職するに至つたが昭和十二年度朝鮮總督府豫算總額四億一千六百三十八萬五千八百七十三圓は果して如何になるか、その成立不成立はかゝつて後繼内閣の方針によるものであるが、半島四億一千六百餘萬圓の大豫算は廣義國防による産業、經濟並に土木事業に要するもので本府の觀測によれば廣田内閣と全然その方針を異にせる後繼内閣の出現せざる限り今議會には提出されるものと見られ最惡の場合においても一部分修正に止まるものと樂觀してゐるなほ第六十八議會提出の昭和十一年度豫算は議會解散に依り不成立に終り、實行豫算に追加豫算によつて半島の世帶は切り盛りされて來たものである

强力内閣要望
永井民政幹事長談

【東京電話】廣田内閣が辭表を捧呈するに至つたことは今日の場合他にとるべき途がなかた結果であつて理由もなく議會解散によつて憂慮すべき事態を惹起しなかつたことは國家のため又憲政のため幸ひである、廣田内閣はさきに不祥事件のあとを承けて成立しその抱懷する政策を提げて第七十議會に臨んだのであるが未だ議會において十分な檢討を盡さざるにさきだち二十一日の議場における出來ごとに端を發し遂に内閣不統一のため總辭職の已むなきに至つたのは遺憾であるけれども現下の政情よりして已むを得ざることである、吾人は現在の時局の重大性を認識し憲政の本義を尊重しこの際庶政一新を斷行し民心を安定し得る强力内閣の出現を希望してやまぬ（號外再録）

廣田首相辭職理由

【東京電話】廣田首相は辭表捧呈に際し左記要旨の辭職理由を添へて闕下に奉呈した

異常非變の後を承けて大命を拜し微力非才を顧みず職に當り今日に至りました、然るに最近の政情を見まするに施政の運行に困難を加へ圓滑なる遂行を期し得ざるに鑑み茲に骸骨を乞ひ奉る

劇的閣議

【東京電話】解散か總辭職か底知れぬ渦を卷く二十三日、午後一時半の緊急閣議、廣田首相は午前十時頃お濠りの外相官邸から無表情な顔を心持ゆがめて首相官邸に登場、藤沼書記官長から情報を聽き内閣の運命を決する閣議を待つてゐると午後零時四十五分小川商相が來邸、續いて賴母木遞相が「蹴るなどは……」とばかり超然として民政黨の委員をあのちつぽけな身に感じひよこ／＼と姿を見せ、次ぎに永田拓相が寒さうに襟をすぼめて到着ひようきんな口調で「うん、どうなることか風雨强かるべしだな」と悲觀的、此頃から陸軍强硬にして全く妥協の餘地なし内閣も瓦解の懼れありの飛報臻り首相官邸警備の警官もそれこそばかり緊張のあご紐をかける有田外相の後に馬場藏相が來たが特に不愉快さうで「總辭職しかないぞ、駄目だ停會期間を延長してもどうにもならないよ」と自嘲自棄みたやうな御機嫌、定刻より遲れて今日の大立物寺内陸相が到着陸相の自動車から寫眞を撮らうとすると小松秘書官が「こゝではいかん」と頑强なところを見せた

日頃童顔の陸相も今日ばかりは無表情で「わしは何も知らん」と大聲叱咤する三十秒位の間隔で永野海相が現れた一言半句も言はずサッサと奥へ消える、島田農相だけは百戰錬磨の政治家らしく落ついて葉巻をくゆらせながら階段をよりだ、林法相、潮内相、前田鐵相も顔を見せた、一時四十一分の平生文相を最後に全部閣僚が揃つて二階の會議室に入り重い扉を固く閉ざして新政治史を綴る重要會議に入つた（號外再録）

林法相勅選

【東京電話】二十三日の閣議で林法相の勅選奏請を決定した

司法大臣　正三位勳一等　林賴三郎

貴族院令第一條第四號により貴族院議員に任ず

ソヴエート國防補强に大童

【ロンドン廿二日同盟】ソヴエト政府は反共陣營の擴大强化に對抗し、國防の補强に大童だが既に歐露戰線の大半は戰時に備へて防禦されてゐると言はれる、纖維業の如きも生産能力を增大しウクライナ白ロシヤ極東各軍管區の冬服製造に當つてゐると傳へられる、自動車製造部の擴張增大しないのは自動車工場の大部分は軍需部工場に改變された結果とも解される、特にモータートラクター等の軍需工業は特に物凄い生産振りで、國境方面にも最新式の兵器が多數供給されてゐるが、ソヴエート軍は歐洲極東兩國境から同時に攻擊を受ける場合を豫想、赤軍兵力を急速に整備する目論みと言はれる、政治犯人を使用してラトビヤ國との國境には難攻不落を誇る要塞を構築し、シベリヤ鐵道並行線その他の軍事鐵道、軍用道路も逐次完全してゐるが、西部ルーマニア、ポーランド方面は極めて完成したと言はれる

獨ア群島租借の噂

【ベルリン廿二日同盟】ナチス職筋の噂に依ればドイツ政府は最近ポルトガル政府と交渉の結果ポルトガル領アンゴラ群島を九十九ケ年間租借する協定成立、ヒットラー總統は卅日國會に於て之を公表する方針といはれてゐる

獨「對英」答禮稿

【ベルリン廿二日同盟】ドイツ政府は義勇軍派遣禁止案に關する對英回答を既に脫稿、ヒットラー總統は目下關係各省首腦部と文案の最後的檢討を行つてゐる、回答は多分二十三日イギリス大使フイップス氏に手交されるものと解される、然しゲーリング將相がローマより歸還するを待つて若干字句の修正が行はれるかも知れずその場合は回答は一兩日遲延するであらう

英サイプラス島に空軍根據地を設置

【ロンドン廿二日同盟】イギリス政府は伊エ紛爭當時の經驗に鑑み英伊戰爭の際マルタ島根據地のみでは到底東部地中海を確保し得ざる實情に鑑みサイプラス島を重要空軍根據地たらしむべく決し既に調査を進めてゐたが空軍次官サスーン將軍との現地調査に基き二十七萬磅の豫算を以てサイプラス島ニコシアに最新式空軍根據地を設置計畫を確立したと傳へられる

本府辭令（廿三日附）

京城地方法院檢事局書記長　本府事務官　池田輔助

朝鮮公立中學校教諭　名田邦衛

依願免本官（各通）

人

◇南部府谷氏（元鐵道局理事課長）廿三日入城

◇宮本不可欠氏（道高等課警部）西大門署へ轉任挨拶のため二十三日本社來訪

◇井上數人氏（道保安課警部）京城鍾路署へ轉任挨拶のため同上

◇坂本盛行氏（道高等課警部）京城永登浦署へ轉任挨拶のため同上

東西南北

茶目二人男―元東拓理事であつた澤田豐丈さんと京城商議の長柳架さんとは仲のいゝ友達です▲このお兩人ある時ある料理屋に落合つてアルコールが全身に廻つてから二人は飯にした、柳架さんはうどんの釜揚げ、澤田さんは相變らず差し向ひでやつてゐたが▲柳架さん茶目氣がむら／＼と頭を擡げた、今までうまさうに箸を突込んでゐた朱塗りの桶を抱くと、そのまゝ澤田さんの頭にスポリとかぶせ呵々大笑▲所が澤田さん落着いたもので「うどんの行水より飯びつの帽子の方がいゝぜ」と傍のおひつを逆さにして柳架さんの頭に乘せてワハ……▲着てゐる着物はどうせ料理屋のもの御兩人さも愉快さうに笑んでゐた▲柳架さんは飯を食ふたびに内地に去つた澤田さんのことを思出してゐる

號外發行

二十三日午後五時半廣田内閣總辭職同十時その後の情勢につき號外を發行御報しました

鎧袖一觸！

改稱と倶に續々として

征露丸は亡びず――と題し確か大正時代全國新聞紙を通じてその存在を釋明し、讀者諸君の御批判を仰ひだやうに記憶いたしますが當時公明正大な大衆各位の御審判の結果は果して中島征露丸の上に温かき御同情となつて注がれ『安心して大ひにやるべし』『ニセ征露丸如きに惑はさるゝ者は一人もなし』と感激所なくしては讀れぬ、熱烈火の如き御懇篤な激勵文が、見も知らぬ方々から多數に舞込みました。事の起りはその以前から、全國に亘り約二十種にも餘ると思はれる、中島征露丸の模造者中最も奸恬佞智に長け、商德義を無視して人の風上にも置けぬ二三の輩が、自己征露丸の名稱を他に改むると倶に、爾今征露丸の藥名が凡て抹殺されるかの如く言葉を巧んだのに始まり、防衞上餘儀なく釋明したのでありますが、幸ひ中島征露丸には本紙愛讀者を始め、江湖識者の背景があり加ふるに永年結付けられた、直接需要家の力強い援軍を持ちますので、曳れ者の小唄に類する彼侄子等の詭計妄言も、何らの價値なく一笑に附し去られた譯であります。然り、中島征露丸は万劫絶對に亡びません。若し彼等の言ふが如くんば、その亡びた者は彼等自身の模造征露丸のみであります。

征露丸は中島の獨創――であります。勿論日露戰役當時、最必須の軍需藥として戰士の背嚢に藏められ、砲煙彈雨の裡に、血河屍山を越へ、異郷の山野に轉戰する我同胞をして病の爲に犬死せしめぬやう、常にその健康を保證し、强露を屠り凱旋せしめた名藥で、胃腸及び肺に最も有効とされる**ケレオリート**を主藥とした事は毎次公開の通りですが、製劑は總て門戶不出の秘方を守り、何者たりとも窺知企及を許さないのでありますから、天に二日なきが如く、中島征露丸を措いて他に征露丸なる藥の存在すべき筈がないに係はらず、本藥の聲價を羨み妬み、その藥名を模擬剽竊するばかりか、主治効能をも追從し、而も内容粗惡なるものを以て、江湖を欺罔する奸商を出した事は我藥業界の痛恨事として、需要家各位に對し、誠に申譯ない次第でありました。

自滅に瀕して續々改稱――併し、天は何時迄も彼等の非道背德を見逃しはしません。曩には既に信用上模造品の利あらざるを漸く覺り反間苦肉の策として愚かにも征露丸を○露丸など改稱し、識者の嘲笑を買つて狼狽の餘り自己の非を蔽はんとし、却つて問ふに落ちず語るに落ちたる者あり、その後又或者は征露丸を○友丸と改め、最近○武○壯丸等、等苦しくも稱を改むる輩が飛び出すなど、ニセ征露丸界も時態中々忙しい事で、是れ皆中島征露丸の永年築き上げた、抽くべからざる地盤、侵すべからざる信用に斷念をつけ、これと戰ふは到底蟷螂斧を振つて轍に向ふの愚に近きを見極めたからで、彼等にも未だ幾分血が通つてゐるものと見へます。

沐猴にして冠す――といふ諺の如く、一体他人の製品を模造して得々たる程、猿智惠に於て傑出した彼等仲間が、いかに改稱した事を以て聰明なる態度と心得、個々勢力爭ひに自己を誇示して見ても、内容は依然として粗質劣惡で、恰も沐猴の冠したがやうに、寧ろ世人を失笑せしめるものゝみであるべきは、今更申述る迄もなく、理智に富せられる讀者に於ては夙に御賢察の事と存上げます。鳥の將に死んとするやその聲悲しと申します。多年の積惡酬ひ來て、今や風前の燈火の如く儚くも運命づけられた、彼等一味の模造藥の上に、善智善能の神が、先づその改稱を强ひられたのは、啻に中島征露丸の醇厚赤誠を喜されたばかりでなく、江湖に於ける征露丸需要家をして、蠱惑より救はせられたもので、自發か偶發か、その今回個々に行はれた、彼らニセ征露丸の改稱こそ、それは各々に自滅を前表する敢なき悲鳴でなくて何でありませう。斯くして最後に唯一つ、神が殘されるものは、中島獨創の征露丸のみであります。三十餘年の光輝ある歷史と、無數の禮讃者を有し、中傷迫害の受難にもめげず、巍々たる事泰山の如く、洋々たる事大海の如く、不易の藥効を謳歌された中島征露丸のみで、この先更に万劫征露丸の名は實と倶に存續し、絶對不滅の藥名として、病需要家を永遠に衞るべき誓ひを、終りに臨んで誓いたします。破邪顯正の王道明かに、神は在して彼等の上に天譴を下され、そして中島征露丸にのみこの福音を齎らされたのです。私は皆樣と手を把つてたゞ感激に浸りたいのみです。

肺病は胃腸病を全治し營養消化を助けねば治らぬ

徒らの氣休め藥と異り、胃腸内壁の障害を除き、鹽酸その他消化に必要な分泌物を助成し、器能作用を優勢にする高貴藥成分により、急性及び慢性胃腸病を先づ根絶し、血を增し、肉を肥し、營養を補給し、傍ら主劑ケレオリートの强烈な殺菌力により、あらゆる細菌寄生菌を殺滅し、特に肺病菌を掃蕩して、胃腸及び肺臟を自己作用により健康づける

忠勇

中島獨創の征露丸

定價表

粒數	定價
八十粒入	金壹圓
百八十粒入	金貳圓
二百卆粒入	金參圓
五百平粒入	金五圓
千二百粒入	金拾圓

大阪市天王寺區下寺町四丁目

征露丸本舖　**中島佐一藥房**

電話戎四三五番

振替口座大阪二七四三七番

花に濃淡あり

片岡鐵兵作　一木弴畫

最後の努力（一）

夜は更けた。

枕もとの腕時計は一時を十分すぎてゐる。疲れで、看護婦も瀧子もすつかり熟睡してゐるやうだ。

晶枝はそつと起き上つて、押入れの引手に手をかけた。非常に注意ぶかい手つきで、

ぶる〳〵慄へる。

自分の着物がたゝまれて、戸棚の中にある。晶枝は寝衣を脱いで素早く着換へ、コオトと肩掛を手にすると、ほつとした。

部屋の外に出ると、廊下の冷氣が微に身にしみこんだ。

やつと玄關まで來、激しい息ぎれで、暫はず土間にしやがむと、

「あ、こんなに遲く、お出掛けですか」

と、いきなり聲をかけられた。管理人がまだ起きてゐたのである。

「えゝ、急用が出來たものですから」

と答へるのも苦しい。額に手をあてると、冷汗でしつとり濡れてゐた。

日の暮れ頃、瀧子や看護婦の隙をうかがつて、ハンドバツグから五圓札を一枚と、五十錢玉を二つ三つそつと自分の財布に隠しておいた、それが死に行く旅費だつた。

郊外だから、一時すぎた往來は眞ッ暗である。兎も角、驛前の通りに出ようと、晶枝はよろめくやうに歩いて行つた。

〝悲しくもなければ、情なくもなかつた。たゞ息ぐるしい。感情はすつかり今日の涙と一緒に吐き出されてしまひ、胸は空瓶のやうに虚ろだ。

暗い空から、風が流れ落ち、地上にうごめく孤獨の影をめがけてまるで晶枝の行手を塞ぐやうに吹きつけて來た。

何といふ幸福だらう。空車が一臺、丁度、驛前の通りに出たばかりの晶枝の前を通りすぎようとした。

「あの」

と懸命に聲をしぼると、車はぴたりと停つて呉れた。

晶枝は、行先きを告げると、倒ふやうにして自動車の中に入つた。

頭腦を區切るだけの元氣もない。眞に幸福だ。

梶本の家——それが彼女の行先だつた。

先づ梶本に會つて、瀧子のことをたのむのだ。それが一生に一つのやり甲斐ある仕事だつたのかと今更ら短い我が身の人生が振返られるやうな氣がした。

鞍の下が冷たいのは、汗だ。

しづまつた街の灯が眠惑をかすめる道さ。さやうなら、そのやうに遥かな生と死！

（梶本さんに會つて、それから、どんなにして自殺しよう？）

何故ともなく、不安になつて來た。出來るなら、途中で催眠藥を用意して行きたいと思ふのだが、

今頃起きてる藥屋などがあらうはずはない。

幻暈のやうなものを感じる。

腰紐で首を縊らうか。梶本の家の二階の、あの欄間から紐を垂れて——

あゝ、そんな醜態を、梶本に見せたくはない！

美しい死とは何であらう？

「そこで、おろして下さい」

彼女は夢から醒めたやうに云つた。

五十錢玉を二つ三つ、運轉手に渡して地上におりると、其所が梶本の家の門前だ。

不思議な力が湧き上る。戸を叩く力。戀しい人の夢を呼び醒まさうと戸を叩く力。

彼女は戸を叩いた。激しく叩いた。そして身體は、ぐつたり門の下に崩れた。

けふのプロ

廿四日（日）第一放送

午前七時五一分（東）ラヂオ體操
同八時一〇分　今日の天氣見込
同八時一五分　氣象通報（今日の天氣見込、平壤）
同九時三〇分（東）うたのおけいこ（テキスト八四ページ）
子供のテキスト一月號特選童謠　一、みのむし　二、兵隊さん　四家文子
同一〇時（城）日曜禮拜—京城明治町大本教會より中繼—瀬戸聖祭
同一〇時四〇分（城）講演　感謝の法衣一枚生活　田口省吾
同一一時一〇分（城）趣味講演　寒中の諸行事に就て　濱口良光
同一一時四〇分（大）海外市況
正午（東）時報
午後零時三〇分　ニユース
同零時五〇分（東）滿洲より—實況リレー『凍る滿洲』

（大連）一、風の中の子供達　嶺前小學校より中繼
（奉天）二、ウインタースポーツ　國際スケートリンクより中繼
（新京）三、氷の底　滑月潭貯水池氷底より中繼
（ハルビン）四、（イ）天然氷の採出（ロ）橇　松花江氷上より中繼

輕音樂の午後

同一時二〇分（東）ハーモニカ合奏　川口章吾アンサンブル　指揮及編曲　川口章吾
一、コーペンハーゲン　二、人の氣持も知らないで　三、講演四、ボジヤングルス五、もの忘れ六、アリババ
同一時四〇分（名）フリユートとマンドリン　フリユート　河村秀一　マンドリン獨奏及伴奏　中野二郎
一、フリユート獨奏　二、マンドリン獨奏（無伴奏）三、フリユート・ギター二重奏
同二時〇五分（名）金剛琴合奏　吾妻八景　金剛琴　森田　鶴　月光琴　岡田のぶ子　同　堀原ひな子　唄　山内すゞ子　三味線　國府むね子　同　高田すゑ子　笛　岩屋　小信
同二時二五分（東）大正琴獨奏　吉岡　直彌
一、鬼道成寺　二、こめあらひ　三、新内流し　四、奴さん　五、かつぼれ　六、俚謠集
同二時四〇分（東）ギター獨奏　溝淵浩五郎
一、メヌエット第六番　二、アンダンテイーノ　三、スペイン夜曲　四、アルアンブラの思出
同三時（東）木琴獨奏　小森宗太郎　ピアノ伴奏　上田　仁
一、歌曲「ロング・ロング・アゴウ」に據る　二、歌劇「ウイルヘルム・テル」より　三、歌劇「ミニヨン」より
同三時二〇分（東）アツコーデイオン合奏
トンボ・アツコーデイオン・バンド　指揮　星野泰元
一、スペインの鬪牛士　二、舞曲「ドナウ河の漣」　三、東洋の星　四、圓舞曲「春ごころ」　五、行進曲「少女」（獨唱付）六、行進曲「ワシントンポスト」
同三時四〇分（東）氣象通報
同四時ニユース（氣象通報）
同四時二〇分（東）春場所大相撲實況（十日目）兩國國技館より中繼
同六時（東）童話劇
同六時二五分　商況ニユース・天氣
同七時　ニユース・天氣

國境警備慰問の夕

同七時三〇分（東）挨拶　三橋警務局長
同七時三五分（城）挨拶（京城より全國中繼）
同七時四〇分　朝鮮總督府警務局　北寺洞駐在所より全國中繼

講演　一、圖們江岸の護り　會寧歩兵第七十五聯隊長　高　良弼
二、國境警備の實況　會寧警察署長　市山重太郎
三、挨拶の二人

感謝と慰安の象徴…
國境警備慰問の夕
北寺洞駐在所より全國中繼

後七時半より

放送アナウンサー　小野田盛之

三橋警務局長の挨拶（京城より全國中繼）

國境警備職員に對しましては大方各位より絶大なる御同情と御後援を賜りお蔭で一同極めて元氣に其の任に就てをります

國境警備は近數年來誠に多事多端を極め試みに昭和九年以降二ケ年間に於ける匪賊の出沒回數を見ましても、實に二萬四百六十七回に及び其の延人員は五十三萬一千二百四名に達してゐるのであります

又朝鮮側關係の被害を見ますれば殺人四百九十五名傷害千七百八十五名、放火四百四十八件、人質拉去二千九百二十四名、金員掠奪二十五萬八千六百圓といふ莫大な數字を示して居ります、

日本は元來島國であるから國民一般に國境に就ての感覺が非常に淡いために、山河一つ隔て……

挨拶　今井田清德

講演　圖們江岸の護り

會寧歩兵第七十五聯隊長　高　良弼

1、圖們江は白頭山に源を發し蜿蜒百餘里、滿蘇に對し日ら國境を形勢してゐる。

2、平素の國境警備は軍隊、警察官民の協力一致各其の任務に邁進し而も各種地方諸團體も加勢し官民一致其の重任を果してゐる。

3、現在國境附近における兵匪の數人は概ね平穩である、是れ友邦滿洲國の治安の恢復、軍官民一致努力の賜である。

4、長嶺子、五家子事件等相踵ぐ蘇聯の不法越境は恰も國境ありてなきが如く我々は室に壁に而も文字通り官民一致し緊張に緊張を重ねてゐる

5、此の環境にありて東洋の平和人類の幸福を思ふ時、威力ある國防の充實は是れ平和の保證たると痛感する次第である

講演　國境警備の實況

會寧警察署長　市山重太郎

挨拶の二人

會寧公立小學校高等科二年　小山晴夫

私は國境の町會寧のことについて簡單にお話いたします、町近く流れてゐる豆滿江の對岸間島には今から三百年前加藤清正がこの地に來た時故國を偲んで名命したといふ間島富士が聳えてゐます

警察官夫人　折目絹子

講演　感謝の法衣一枚生活

田口省吾

田口師は沙門となつて三十一年、絶對法衣一枚生活に轉向して十八年、四季なく、無帽、無足袋、嚴寒三十餘度の滿洲を行脚すること三回、一方熊本市に光風塾を開き精神生活に精進してゐる

先哲や古の聖者が歩かれた道の下の生活やさうした思想は今の物質萬能の人々にはお伽噺の如くにしか思はれないであらう、今は只物欲をのみ貪ぼれるかの如き時代で

之を御頭生活から見れば實に徹底しないことである。人は權利を主張する前に先づ其の時の實行をなすべきである。私は昭和九年一月以降三回に亘り嚴寒季に絶對法衣一枚で滿蒙北支の軍隊慰問をなし貧い精神生活を體驗した、けふはその一端を述べて聴衆の參考に供したいと思ふ

對岸の治安は最近漸く好轉してゐるとは申しながらまだ〳〵樂觀を許さない實情にありまして、昨年一ケ年間に於て警察官だけでも十名の殉職者を出してゐるやうな始末であります

然しながら此の報一度天聽に達するや畏くも　天皇　皇后兩陛下には夫々祭粢料を賜り、又今回は國境警備職員の勞苦を御軫念あらせられ侍從武官を御差遣遊ばされ優渥なる聖旨及令旨を賜るやうに拜承致してゐるのでありますが直接警備に從事してゐる者は勿論我々一同只々恐懼感激に堪へざる所であります今後一層軍關係其他對岸警備機關等との協力なる一致團結により聖旨に副ひ奉る

白頭節

唄　三香奴　三味線　貞香　同　千代香

歌謠曲

一、愛馬よさらば　佐藤惣之助作詞　細川潤一作曲

二、背嚢枕に　坂口淳作詞　佐藤長助作曲

三、命を捨てゝ　時雨音羽作詞　大村能章作曲

四、あゝ我が戰友　林柳波作詞　細川潤一作曲

（一）背嚢枕に眠れぬ夜は、故國の便りをまた取り出して、渡れる天幕の月かげに、たどるなつかし筆のあと

（二）眠れないのか㒵の戰友も、煙草のむ火にポカリと見える、伸びたまばらな髭の顔、浮び出させて夜は更ける

（三）國家に捧げた命ぢやないか明日の討匪にや手柄を立てゝ、便り書きたや父母に、散らば大和のさくら花

（一）かざす男の軍刀は、戀も緣も斬りすてゝ、御國の爲にまつしぐら、すゝめすゝめと風を切る

（二）生きてふたゝび歸る氣はほどないがなぜだらう、君の笑顔と眞蔵の、こゑが今でも耳の底

（三）ゆかしなつかし日の丸の、祖國おもへば身に迫る、匪を褒さも何んのその、伴達に鍛へた腕ぢやない

（一）滿目荒涼寺山河、風荒れて、枯木に鳴く鳥もなく只上弦の月寒し

（二）光にぬれてしとしとと、打伏す屍我が戰友よ、降れ、跡に

（三）死なば共にと言ひつから、君は祖國を護る心かと

（合唱）

わが騎は、忘れ難野の雪の下（四）葬はんにも花はなし、せめて氷の白樺に、名をば記して手を合せ、落つる涙を手向草

（五）思へば故郷を出でしより、轡戰討伐幾度か、明け暮れ共に辛苦せし、あゝわが戰友何故死んだ

（六）泣く〳〵今は別れゆく、護は顔に渡れども、皇國のために斃れたる、名譽は高しわが軍馬

此處はお國を何百里、離れて遠き滿洲の、赤い夕陽に照らされて、戰友は野末の石の下

（四）あゝ我が戰友よ二人して、約せし事は知りながら、君が最期を故郷へ、何と知らせてよいものぞ

（五）君の血潮は滿洲の赤い夕陽に色添へて、大和心の花咲いばつと散つたと書こかしら

（婦人從軍歌）

火筒の響き遠ざかる、跡には虫も聲たてず、吹き立つ風はなまぐさく、くれなゐ染めし草の色

（六）彈にあたつたあの時に天皇陛下萬歳と、三度叫んだ彼の聲を、その儘書いて送らうか

（七）涙で書いた此の手紙、涙で讀んで笑ふだろ、君の殿若妹御も、やつぱり大和の女郎花

朝鮮汽船出帆廣告

一、釜山出帆
鎭水行（急行）每日夜八時
麗水行（急行）每日夜七時半
木浦行各港寄港每日午後一時
江原道行（急行）
鬱陵島急行
一、濟州島
竹邊行
九龍浦行
一、木浦出帆
濟州島行
一、元山出帆
釜山行（急行）

朝鮮郵船定期出帆

東京行
成鏡丸
江原丸
阪神行
漢江丸
漢城丸
鹿兒島行
櫻島丸
上海行
平安丸
青島行
會寧丸
長崎行
岩手丸
敦賀丸
近海郵船仁川出帆
沿岸郵船出帆
大連行
海州丸

朝鮮運送株式會社仁川支店回漕部

九州郵船出張所　釜山出帆

尼崎汽船出帆

九州郵船株式會社

高杉商店回漕部